

令和5年度
部活動の地域移行に関する
アンケート調査

調査結果
【本編】

浜中町教育委員会

1	調査概要	1
	（1）調査目的	1
	（2）調査対象	1
	（3）調査方法	1
	（4）調査期間	1
2	調査結果	2
	（1）児童	2
	（2）生徒	8
	（3）保護者	17
	（4）教職員	29
	（5）特別集計	38
3	調査結果から	42

1 調査概要

(1) 調査目的

調査目的は、令和4年12月27日にスポーツ庁、文化庁が共同で公表した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づき、本町における学校部活動の現状を把握し、学校部活動に代わる地域クラブ活動への段階的な移行（部活動の地域移行）へ向けた取り組みを推進するため、次のとおり設定しました。

国（スポーツ庁、文化庁）が推進する部活動改革「部活動の地域移行」の実現に向け、地域の実態を把握し、また、地域の実情に応じたスポーツ・文化芸術活動の在り方について検討・協議するために必要な情報を獲得することを目的とします。

(2) 調査対象

調査対象は、先の調査目的に鑑み、次のとおり設定しました。

- ・ 児童 浜中町内の小学校に在籍する5年生及び6年生の児童
- ・ 生徒 浜中町内の中学校に在籍する生徒の全員
- ・ 保護者 浜中町内の小学校及び中学校に在籍する子を有する保護者の全員
- ・ 教職員 浜中町内の中学校に勤務する校長、教頭、教諭、養護教諭、事務職員
※臨時的任用及び代替等の教員を含む。
※事務補、公務補を除くを除く。

(3) 調査方法

調査方法は、Google forms を用いたアンケート調査方式を採用し、次のとおり実施しました。

- ・ 児童生徒 教職員の補助の下、学校でご回答していただきました。
- ・ 保護者 児童生徒を介して保護者に対し「依頼文」を配布し、ご回答していただきました。
- ・ 教職員 学校を介して教職員に対し「依頼文」を配布し、勤務の範囲内でご回答していただきました。

(4) 調査期間

調査期間は、次のとおりに設定しました。

令和5年4月24日（月） ～ 令和5年4月28日（金）

※ただし、回答フォームの閉鎖は令和5年5月8日（月）

2 調査結果

(1) 児童

① 想定される回答者の値

	総 数	霧多布 小学校	散布 小学校	浜中 小学校	茶内 小学校
5 年 生	43	12	5	4	22
6 年 生	35	11	1	8	15
総 数	78	23	6	12	37

② 調査結果に見る回答者の値（各設問ごと）

p3	【問1】	回答者数	霧多布 小学校	散布 小学校	浜中 小学校	茶内 小学校
	ポイント	74	19	6	11	38

p3	【問2】	回答者数	5年	6年
	ポイント	74	41	33

p4	【問3】	回答者数	男	女	選択なし
	ポイント	74	36	33	5

p4	【問4】	回答者数	取り組みたいと思う	どちらかと言え ば取組みたいと思 う	どちらかと言え ば取組みたくない と思う	取組みたくない と思う	わからな い、まだ考 えていない
	ポイント	74	43	22	1	0	8

p5	【問5】	回答者数	総回答数
	ポイント	65	145

p5	【問5】	回答者数	総回答数
	ポイント	1	1

p6	【問6】	回答者数	総回答数
	ポイント	66	164

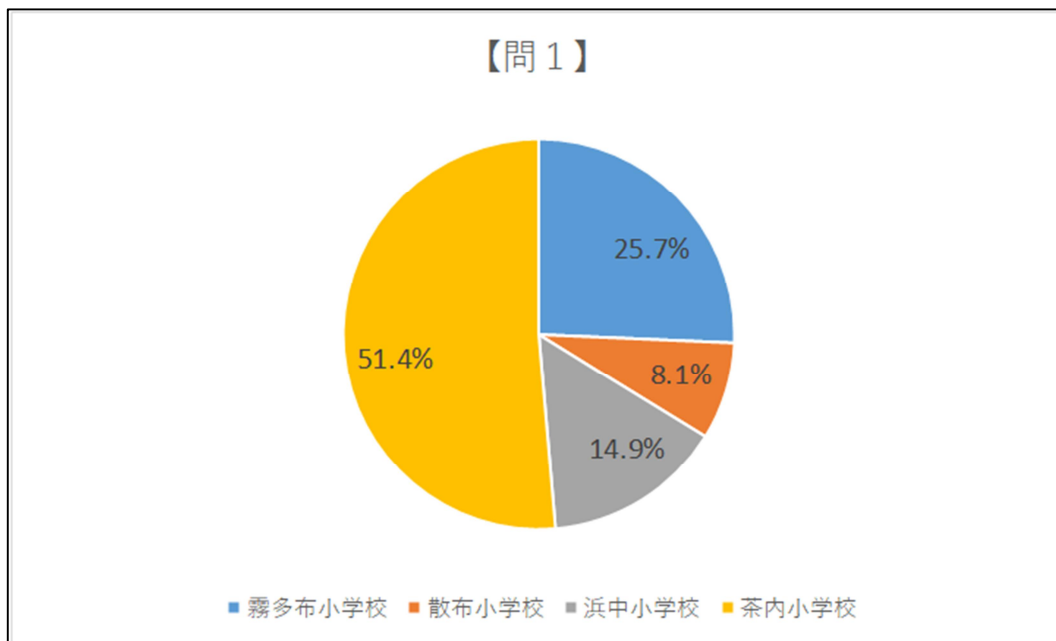
p6	【問7】	回答者数
	ポイント	74

p7	【問8】	回答者数	総回答数
	ポイント	44	102

p7	【問8】	回答者数	総回答数
	ポイント	30	39

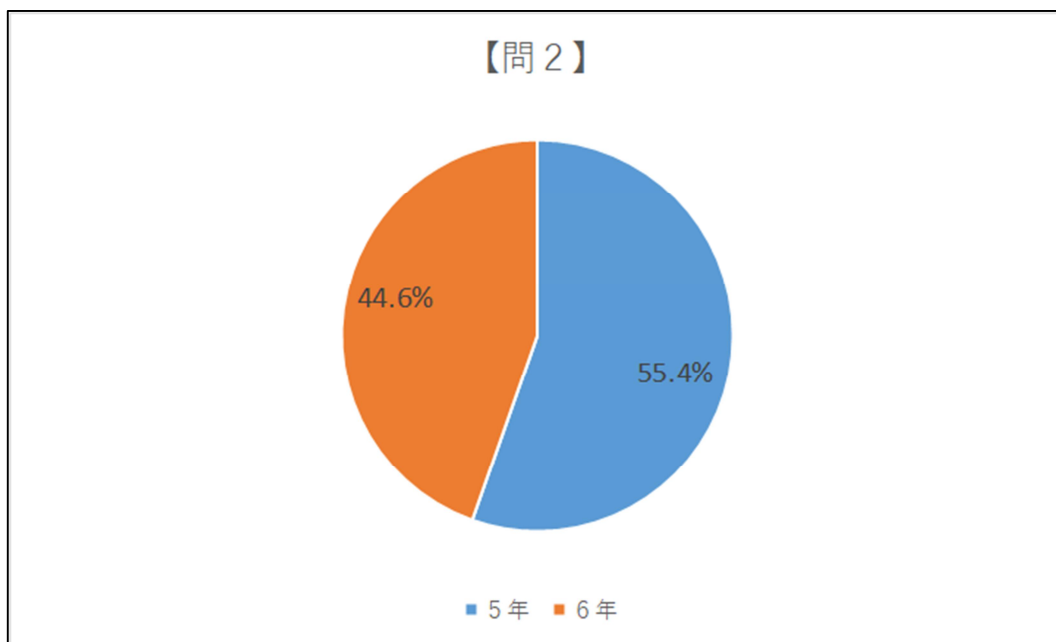
※茶内小学校で重複回答があります。

【問 1】あなたが在籍する学校はどこですか。



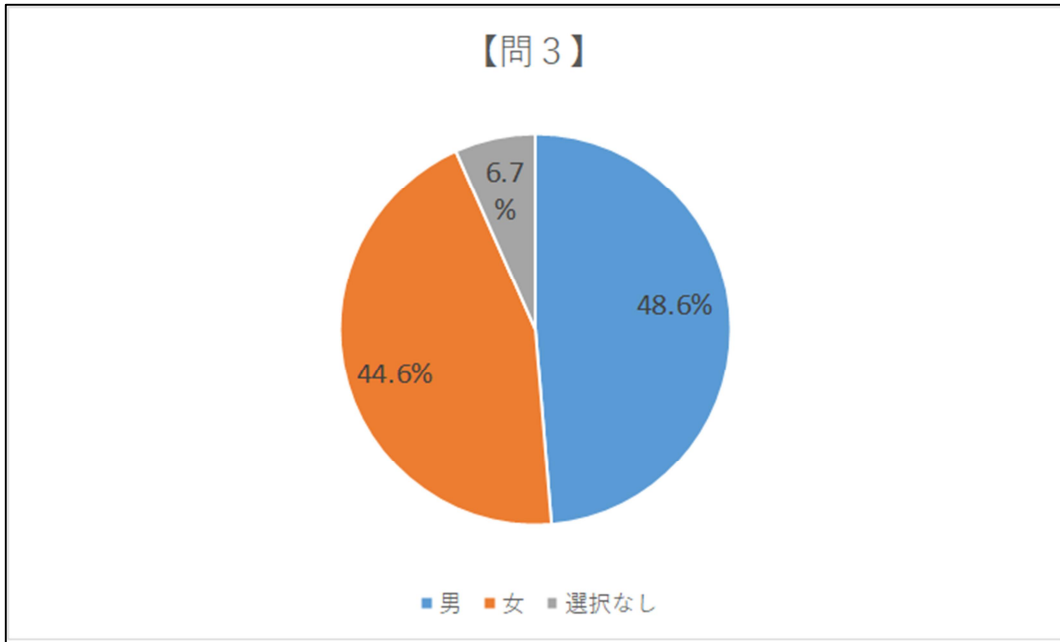
回答対象者の「在籍する学校」は、上の図のとおりとなっています。

【問 2】あなたの学年はどれですか。



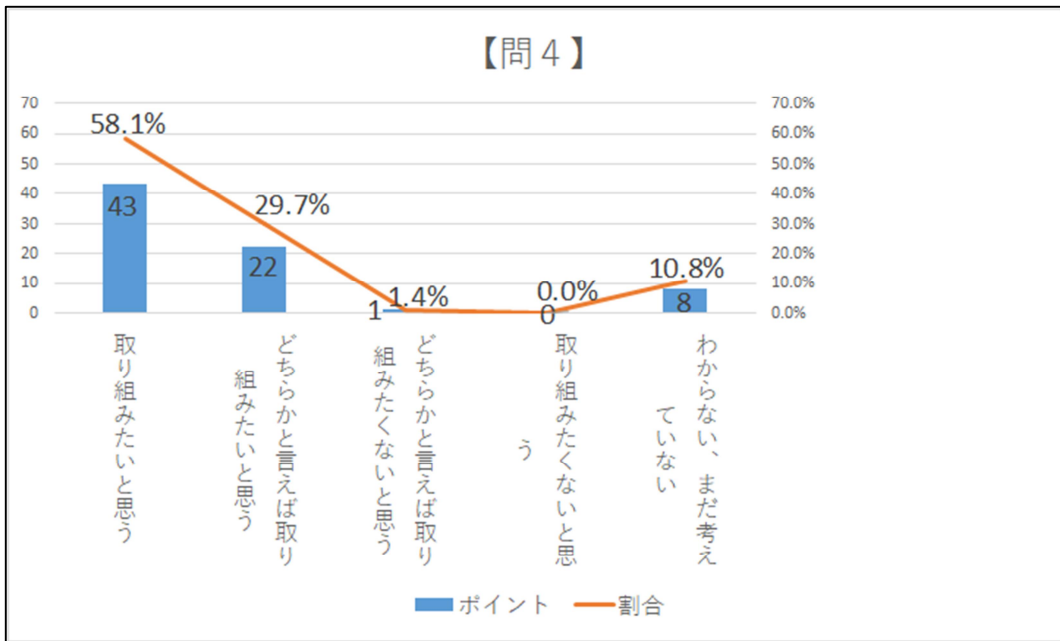
回答対象者の「学年」は、上の図のとおりとなっています。

【問 3】 あなたの性別はどれですか。



回答対象者の「性別」は、上の図のとおりとなっています。
回答は任意としており、男女の選択がない回答 5 ポイントありました。

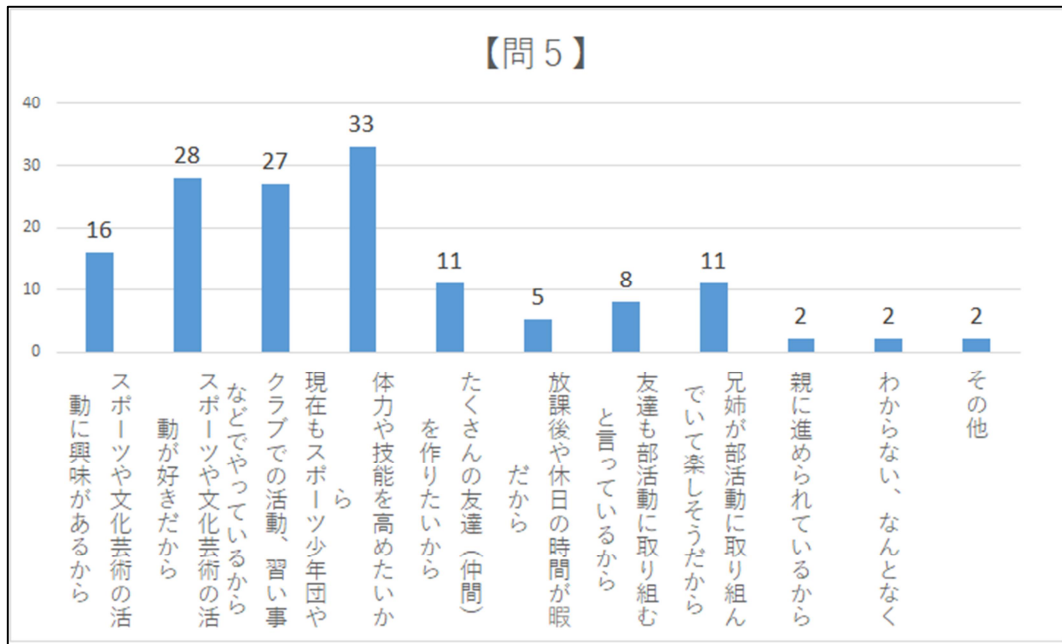
【問 4】 中学校に入ったら部活動に取り組みたいと思いますか。



回答対象者の「部活動への参加意欲」は、『取り組みたいと思う』『どちらかと言えば取り組みたいと思う』といった前向きな回答が 87.8% で極めて高い割合となりました。

特に『取り組みたいと思う』と回答した割合は 58.1% で、回答対象者の半数以上が部活動への参加に大変意欲的であるといえます。

【問5】「部活動に取り組みたいと思う」のはなぜですか。 ※複数回答◎（3つまで）



回答対象者のうち、先の【問4】において『取り組みたいと思う』『どちらかと言えば取り組みたいと思う』と回答した者の「部活動に取り組みたい理由」は、上の図のとおりです。

『スポーツや文化芸術の活動に興味があるから』『スポーツや文化芸術の活動が好きだから』等の自主性に溢れた回答が多くありました。また、『現在もスポーツ少年団やクラブ活動、習い事などでやっているから』といった、既にスポーツ少年団等で取り組んでいる競技を継続したい旨の回答も多くありました。

【問5】「部活動に取り組みたくないと思う」のはなぜですか。

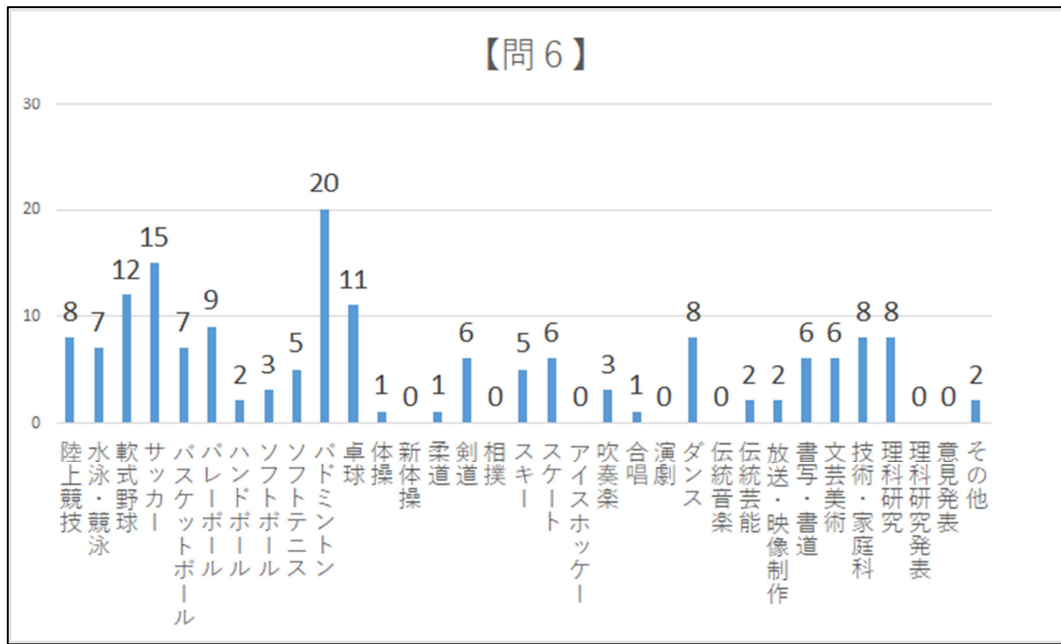
※複数回答◎（3つまで）



回答対象者のうち、先の【問4】において『取り組みたくないと思う』『どちらかと言えば取り組みたくないと思う』と回答した者の「部活動に取り組みたくない理由」は、上の図のとおりです。

【問 6】 中学校の部活動にあったら取り組んでみたい競技種目はありますか。

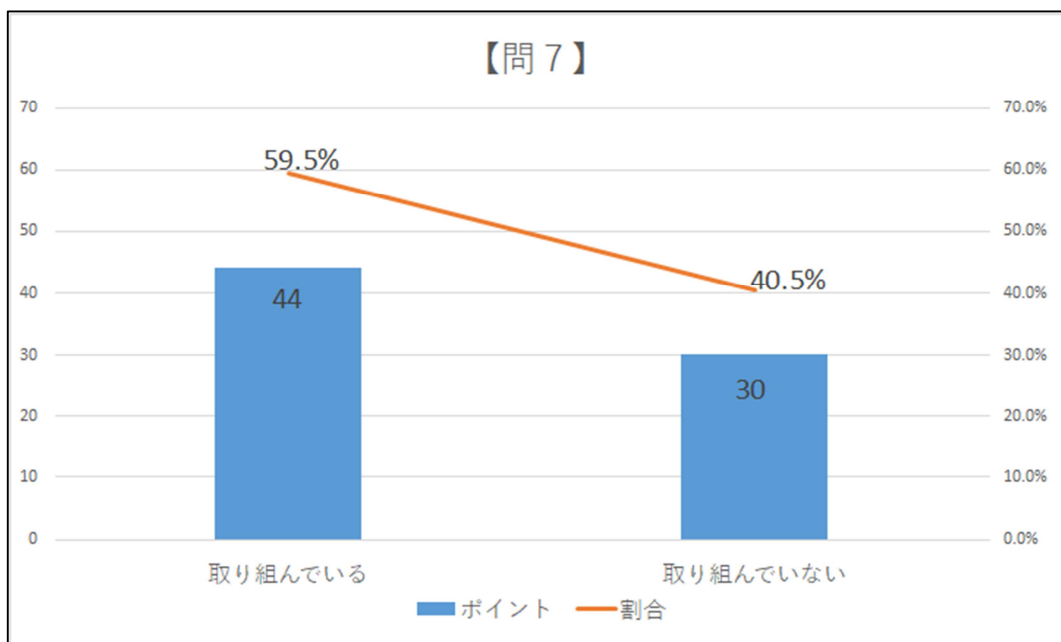
※複数回答◎（3つまで）



回答対象者の「部活動にあったら取り組みたい競技」は、上の図のとおりです。この設問では、浜中町内の中学校に設置されている部活動で取り扱われている競技種目に限らず、自由な意見を頂戴しました。

既に部活動として設置されている『陸上競技』『バドミントン』『卓球』のほか、スポーツ少年団等で取り扱われている『軟式野球』『サッカー』『バレーボール』『剣道』『スケート』『ダンス』といった競技への希望があるようです。

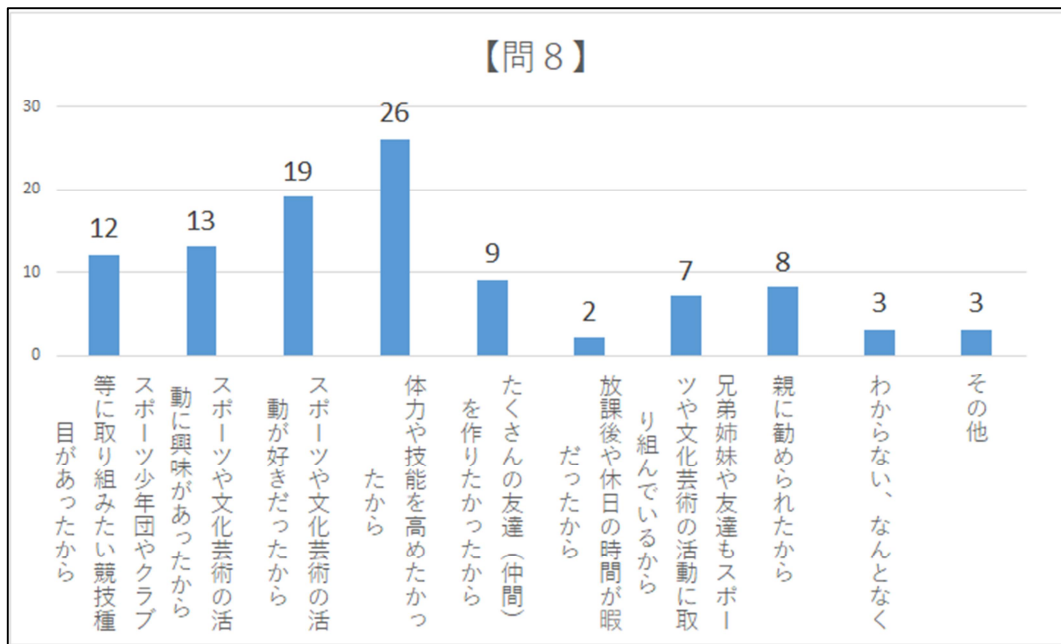
【問 7】 現在、スポーツ少年団やクラブなどに所属し、スポーツや文化芸術の活動に取り組んでいますか。



回答対象者の「スポーツ少年団等での活動の取り組み状況」は、上の図のとおりです。

回答対象者の半数以上の者がスポーツ少年団等に所属し、何らかのスポーツ・文化芸術活動に取り組んでいるといえます。

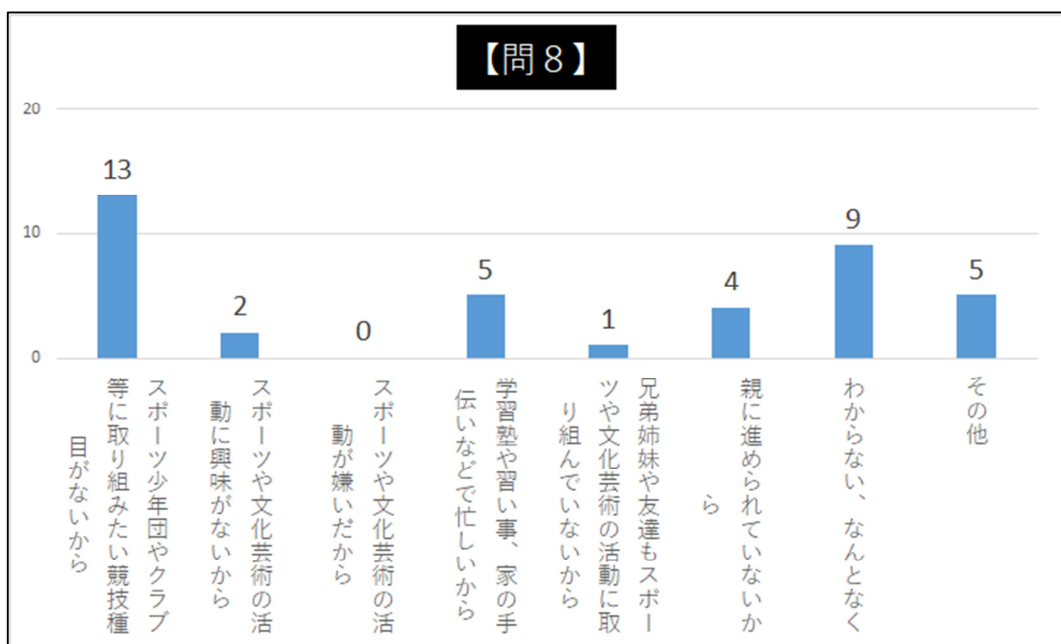
【問 8】 現在、スポーツ少年団やクラブなどに所属し、スポーツや文化芸術の活動に取り組んでいるのはなぜですか。 ※複数回答㊦（3つまで）



回答対象者のうち、先の【問 7】において『取り組んでいる』と回答した者の「スポーツ少年団やクラブなどに所属し、スポーツや文化芸術の活動に取り組んでいる理由」は、上の図のとおりです。

多少の違いはありますが、概ね【問 5】の「部活動に取り組みたい理由」に近い結果といえ、体力や技能の向上に関する回答が多数ありました。また、親や兄弟の影響を多少なりとも受けているようです。

【問 8】 現在、スポーツ少年団やクラブなどに所属し、スポーツや文化芸術の活動に取り組んでいないのはなぜですか。 ※複数回答㊦（3つまで）



回答対象者のうち、先の【問 7】において『取り組んでいない』と回答した者の「スポーツ少年団やクラブなどに所属し、スポーツや文化芸術の活動に取り組んでいない理由」は、上の図のとおりです。

『スポーツ少年団やクラブ等に取り組みたい競技種目があつないから』『わからない、なんとなく』といった回答が多くありました。

(2) 生徒

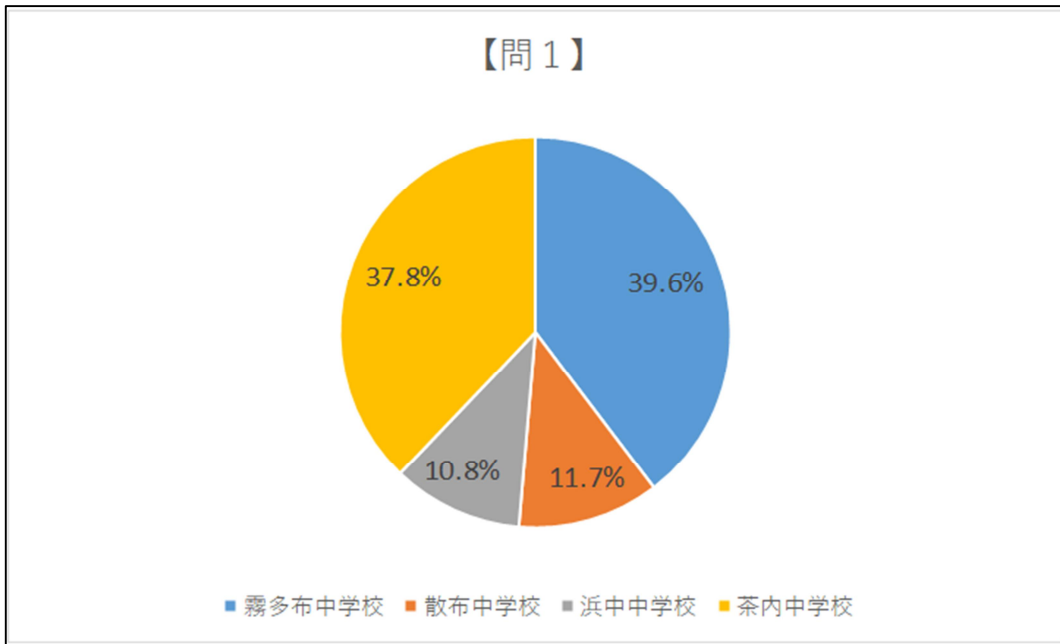
① 想定される回答者の値

	総 数	霧多布 中学校	散布 中学校	浜中 中学校	茶内 中学校
1 年 生	42	11	7	6	18
2 年 生	36	17	1	4	14
3 年 生	39	17	6	2	14
総 数	117	45	14	12	46

② 調査結果に見る回答者の値 (各設問ごと)

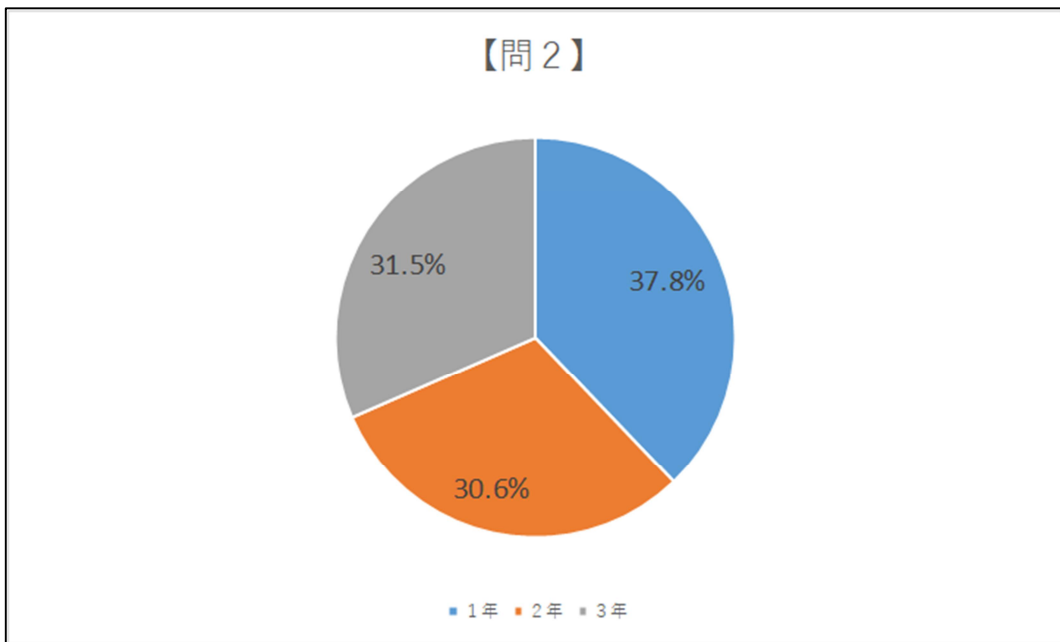
p9	【問1】	回答者数	霧多布 中学校	散布 中学校	浜中 中学校	茶内 中学校
	ポイント	111	44	13	12	42
p9	【問2】	回答者数	1年	2年	3年	
	ポイント	111	42	34	35	
p10	【問3】	回答者数	男	女	選択なし	
	ポイント	111	56	55	0	
p10	【問4】	回答者数	取り組んで いる	取り組んで いない		
	ポイント	111	92	19		
p11	【問5】	回答者数				
	ポイント	92				
p11	【問6】	回答者数				総回答数
	ポイント	92				166
p12	【問7】	回答者数				
	ポイント	92				
p12	【問8】	回答者数				
	ポイント	92				
p13	【問9】	回答者数				
	ポイント	92				
p13	【問10】	回答者数				
	ポイント	92				
p14	【問5】	回答者数				総回答数
	ポイント	19				27
p14	【問11】	回答者数				総回答数
	ポイント	108				239
p15	【問12】	回答者数				
	ポイント	111				
p15	【問13】	回答者数				
	ポイント	111				
p16	【問14】	回答者数				総回答数
	ポイント	74				82
p16	【問14】	回答者数				総回答数
	ポイント	39				60

【問 1】あなたが在籍する学校はどこですか。



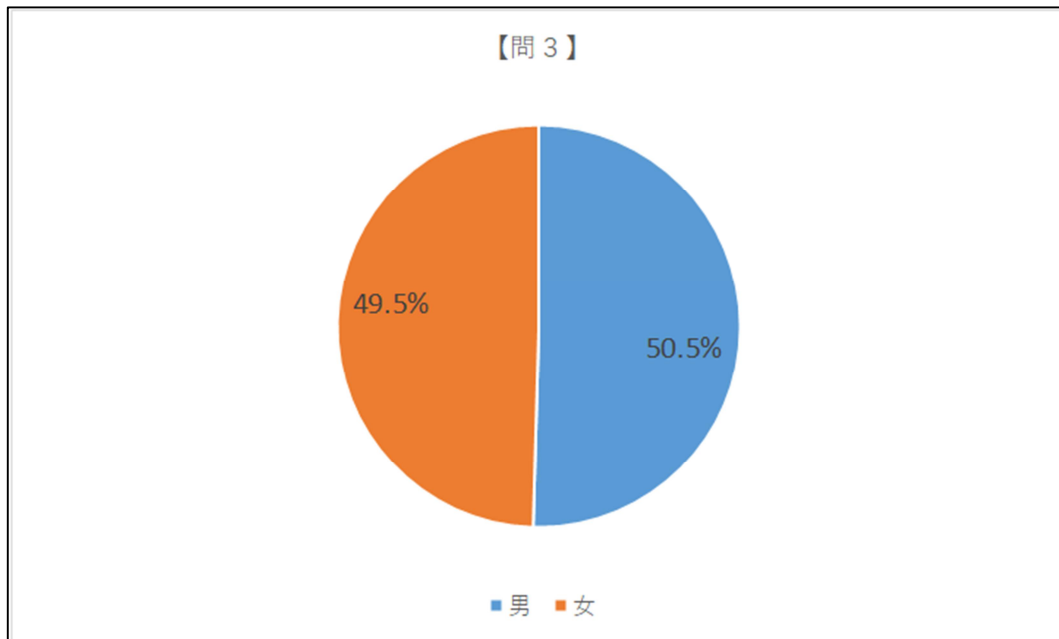
回答対象者の「在籍する学校」は、上の図のとおりとなっています。

【問 2】あなたの学年はどれですか。



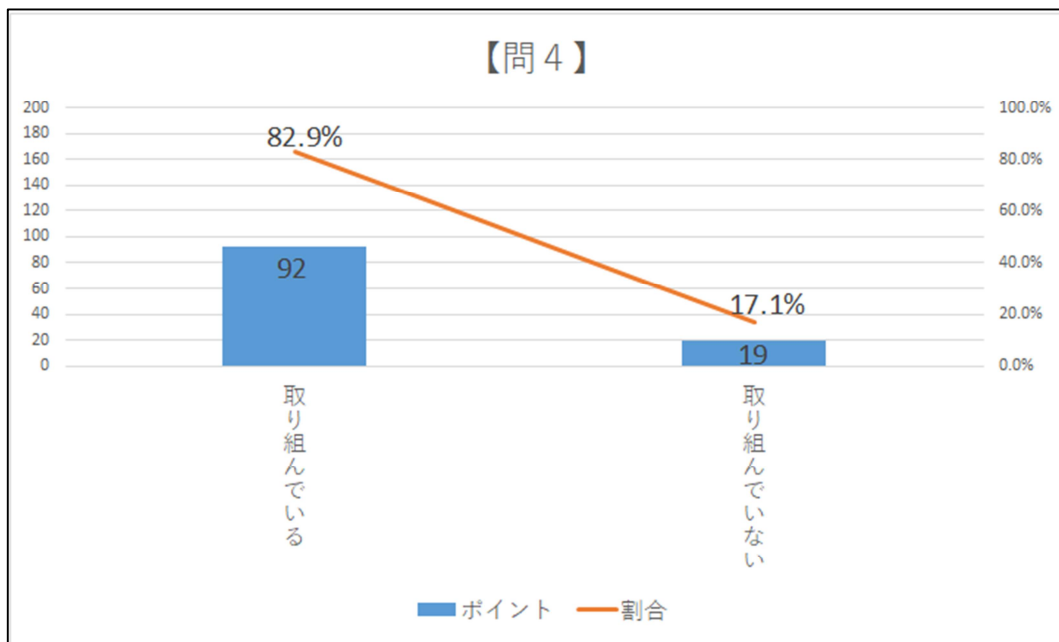
回答対象者の「学年」は、上の図のとおりとなっています。

【問 3】 あなたの性別はどれですか。



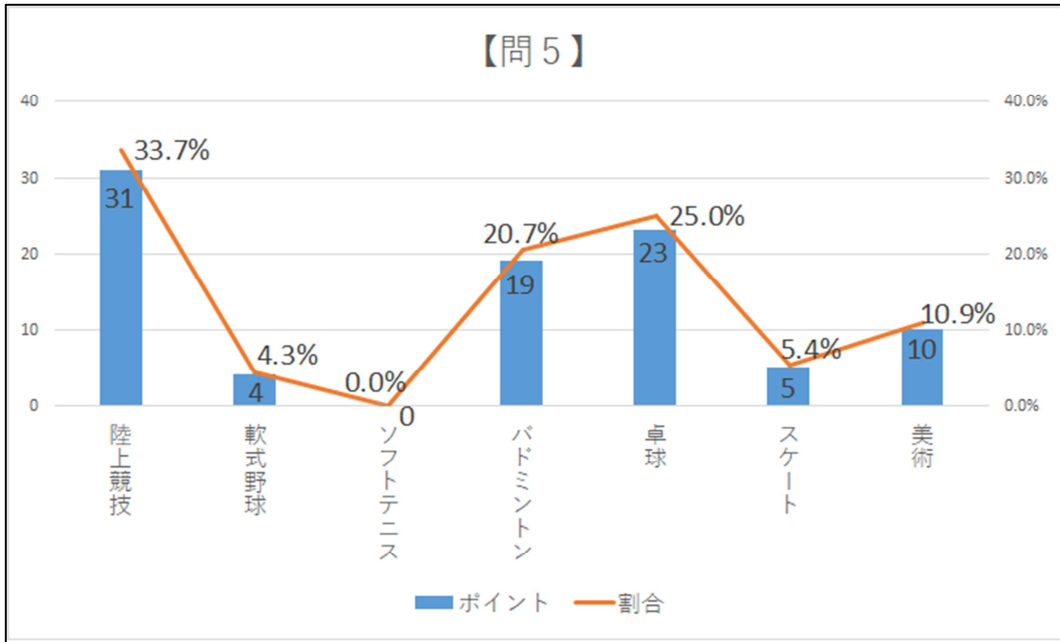
回答対象者の「性別」は、上の図のとおりとなっています。
男女比は、概ね 1 対 1 といえます。

【問 4】 現在、部活動（同好会活動を含む）に取り組んでいますか。



回答対象者の「部活動の加入状況」は、上の図のとおりです。
回答対象者の 8 割以上の者が部活動に所属し、何らかのスポーツ・文化芸術活動に取り組んでいるといえます。

【問5】現在、部活動（同好会活動を含む）で取り組んでいる競技種目はなんですか。

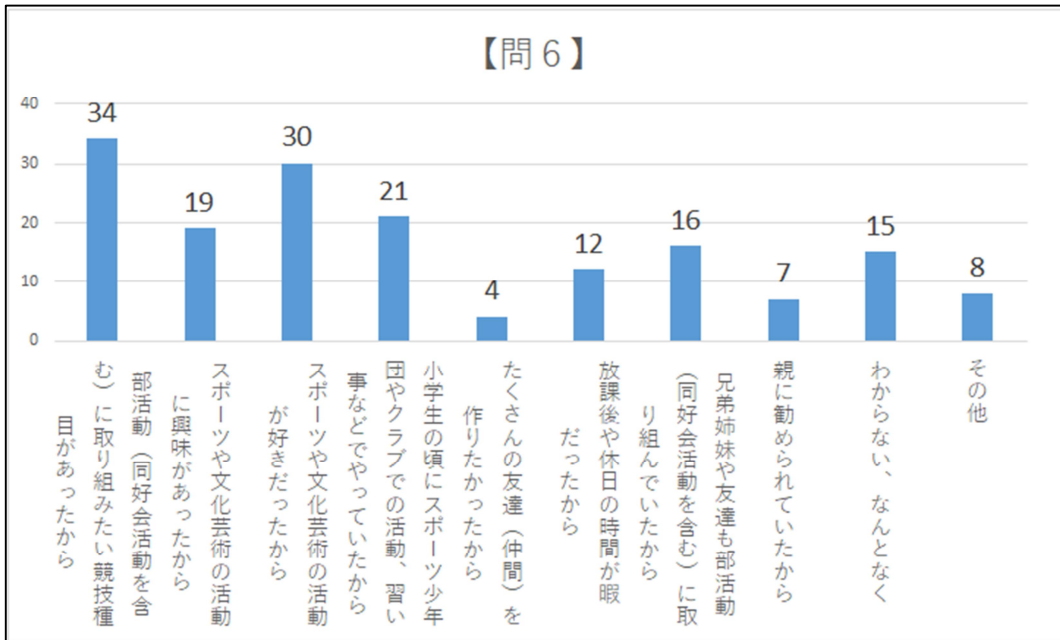


回答対象者のうち、先の【問4】において『取り組んでいる』と回答した者の「部活動で取り組んでいる競技種目」は、上の図のとおりです。

霧多布中学校・茶内中学校で設置されている『陸上競技』が最も多く、次いで茶内中学校・浜中中学校で設置されている『卓球』、霧多布中学校・散布中学校で設置されている『バドミントン』と続きます。

【問6】部活動（同好会活動を含む）に取り組もうと思ったのはなぜですか。

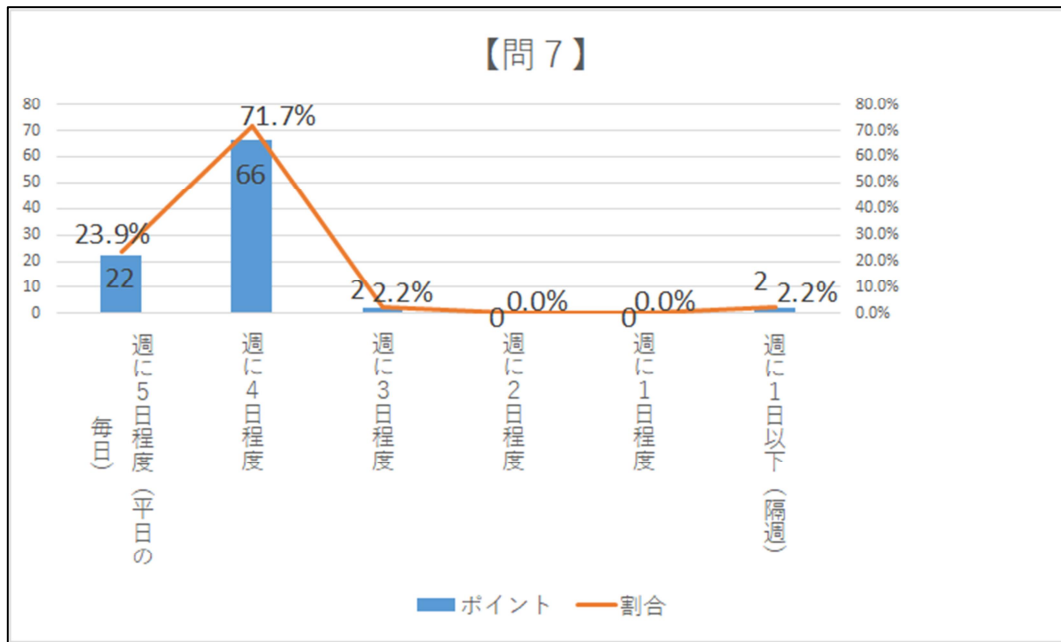
※複数回答◎（3つまで）



回答対象者のうち、先の【問4】において『取り組んでいる』と回答した者の「部活動に取り組もうと思った理由」は、上の図のとおりです。

『スポーツや文化芸術の活動に興味があるから』『スポーツや文化芸術の活動が好きだから』等の自主性に溢れた回答が多くありました。また、『小学生の頃にスポーツ少年団やクラブ活動、習い事などでやっていたから』といった、これまでスポーツ少年団等で取り組んできた競技を継続したかった旨の回答も多くありました。

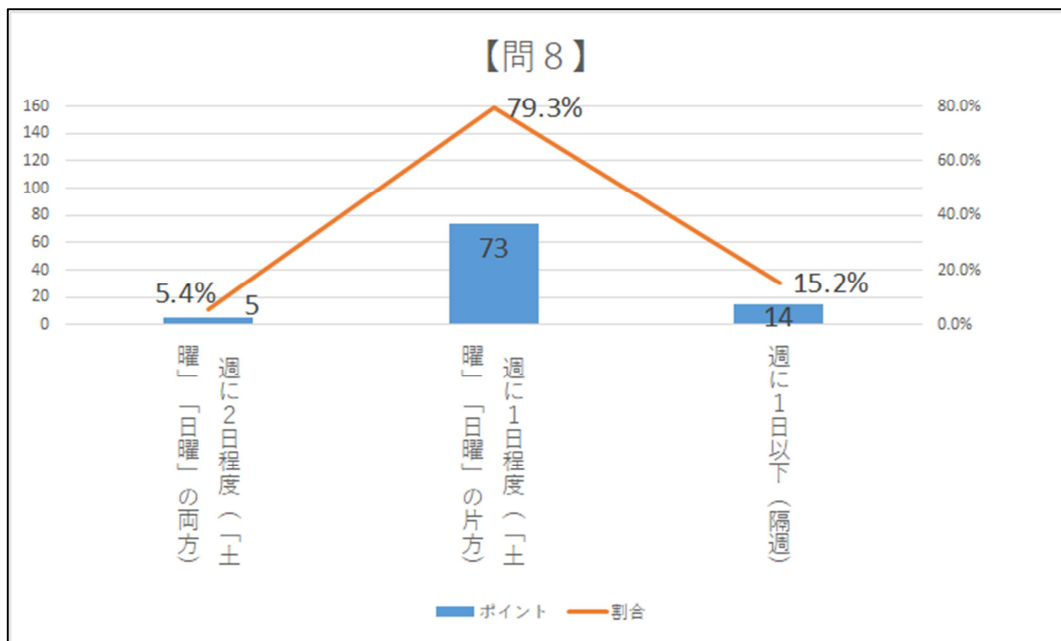
【問 7】 所属する部活動（同好会活動を含む）では、平日（学校の授業がある日）に何日程度の活動がありますか。



回答対象者のうち、先の【問 4】において『取り組んでいる』と回答した者の「平日の部活動の実施頻度」は、上の図のとおりです。

『週に4日程度』が最も多く、次いで『週に5日程度』と続いており、高い頻度で部活動が行われていることが分かります。

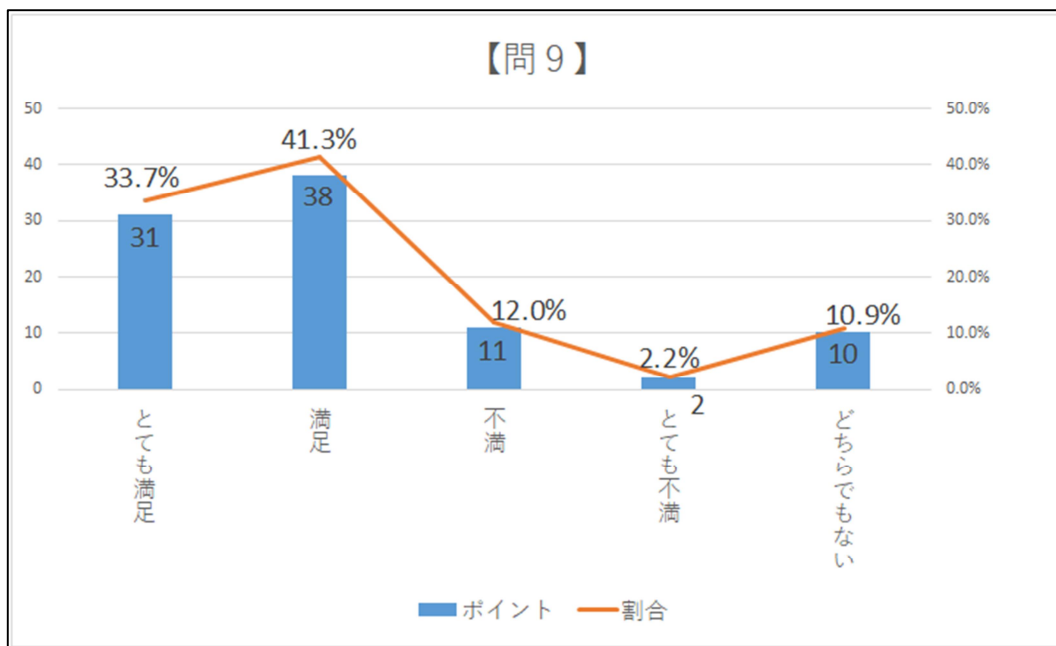
【問 8】 所属する部活動（同好会活動を含む）では、休日（学校の授業がない「土曜」「日曜」）に何日程度の活動がありますか。



回答対象者のうち、先の【問 4】において『取り組んでいる』と回答した者の「休日の部活動の実施頻度」は、上の図のとおりです。

『週に1日程度』という回答が最も多くありました。

【問9】 所属する部活動（同好会活動を含む）での活動日数（平日・休日）について、あなたはどのように感じていますか。



回答対象者のうち、先の【問4】において『取り組んでいる』と回答した者の「現在に取り組んでいる部活動への評価」は、上の図のとおりです。

『とても満足』『満足』といった回答が75.5%となっており、概ね高い評価といえます。

【問10】 問9の回答の理由はなぜですか。 ※記述式回答

- ・楽しい（6）
- ・丁度良い（4）
- ・不満がない（2）
- ・運動が好き（2）
- ・暇つぶしになる（2）
- ・やりがいがある
- ・指導を受けることができる、技術の向上を図ることができる（5）
- ・活動の日数や時間が少ない、休みが多い（7）
- ・活動の日数や時間が長い、休みが少ない（1）
- ・その他（8）
- ・特になし（56）
- ・回答なし、未回答（19）

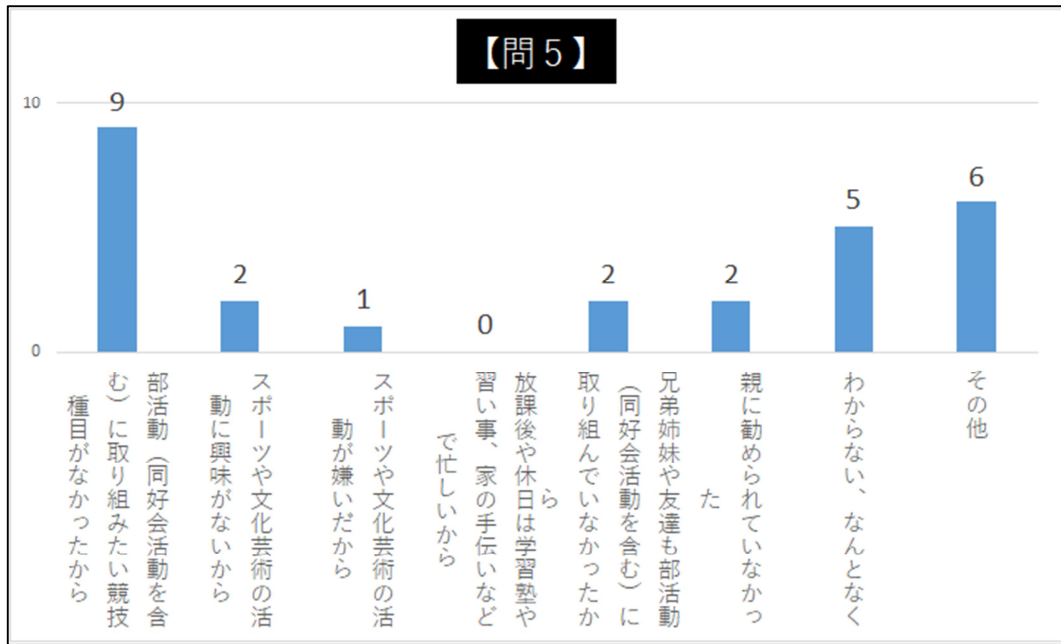
回答対象者のうち、先の【問4】において『取り組んでいる』と回答した者の「現在に取り組んでいる部活動への評価の理由」は、上のとおりです。

『楽しい』『丁度良い』等といった肯定的な理由がある一方、『活動の日数や時間が少ない、休みが多い』と挙げる回答者も目立ちました。

各部活動により、運営方法が異なることから、様々な理由が見受けられました。（詳細は別冊「資料編」の1ページ、2ページを参照のこと。）

【問5】 現在、部活動（同好会活動を含む）に取り組んでいないのはなぜですか。

※複数回答◎（3つまで）

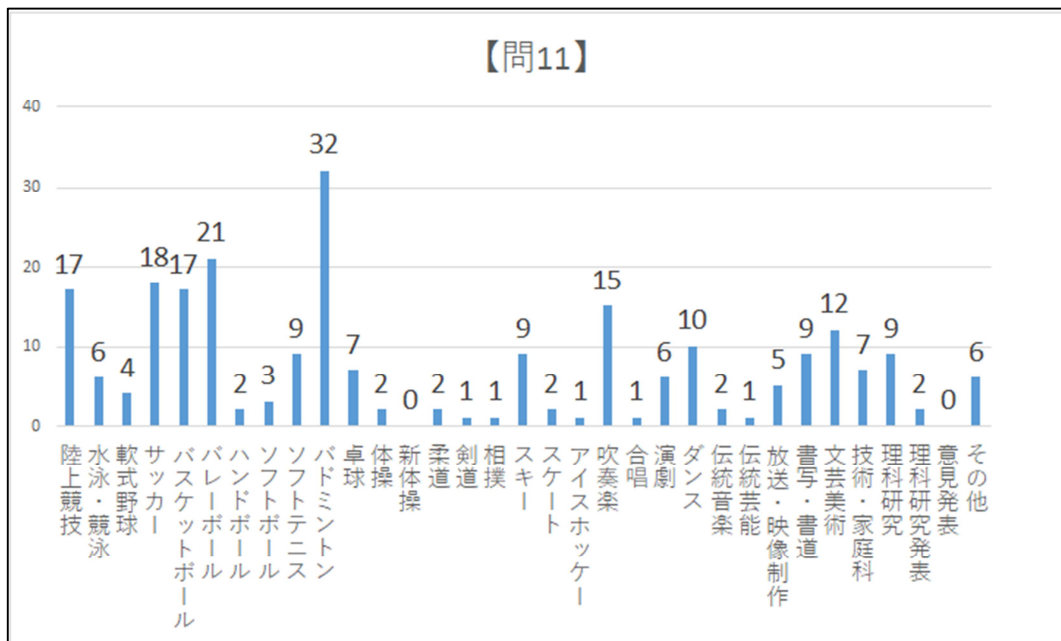


回答対象者のうち、先の【問4】において『取り組んでいない』と回答した者の「部活動に取り組んでいない理由」は、上の図のとおりです。

『部活動（同好会活動を含む）に取り組みたい競技種目がなかったから』との回答が最も多く、次いで『その他』『わからない、なんとなく』と続きます。

【問11】 部活動にあつたら取り組んでみたい競技種目はありますか。

※複数回答◎（3つまで）



回答対象者の「部活動にあつたら取り組みたい競技種目」は、上の図のとおりです。

この設問では、浜中町内の中学校に設置されている部活動で取り扱われている競技種目に限らず、自由な意見を頂戴しました。

回答数が多かった上位5競技種目のうち、3競技種目（『バレーボール』『サッカー』『バスケットボール』）は、浜中町内の中学校で設置されている部活動で取り扱われていない競技種目となりました。

【問12】 どのような「活動条件」があれば部活動に取り組んでみたいと思いますか。

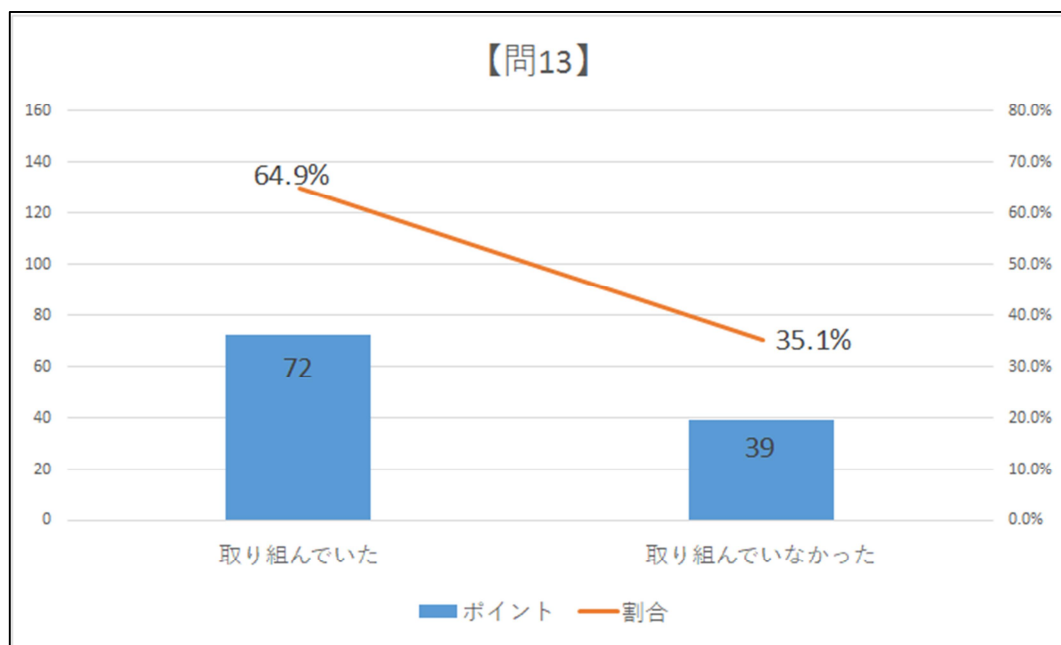
※記述式回答

- ・部活動の設置に関すること（3）
- ・部活動の活動頻度に関すること（42）
- ・その他（9）
- ・希望なし（54）
- ・無効回答（5）

回答対象者の「部活動に取り組む際の活動条件の希望」は、上のとおりです。活動頻度に関する希望のほか、希望する競技種目を取り扱う部活動の設置の希望等がありました。

（詳細は別冊「資料編」の3ページから5ページを参照のこと。）

【問13】 小学生の頃に、スポーツ少年団やクラブ等に所属し、スポーツや文化芸術の活動に取り組んでいましたか。



回答対象者の「小学生時代のスポーツ少年団等の取り組み状況」は、上の図のとおりです。

『取り組んでいた』との回答が64.9%あり、概ね3人に2人がスポーツ少年団等に所属し、何らかのスポーツ・文化芸術の活動に取り組んでいたといえます。

【問14】小学生の頃に、スポーツ少年団やクラブ等で取り組んでいた競技種目はなんですか。 ※記述式回答

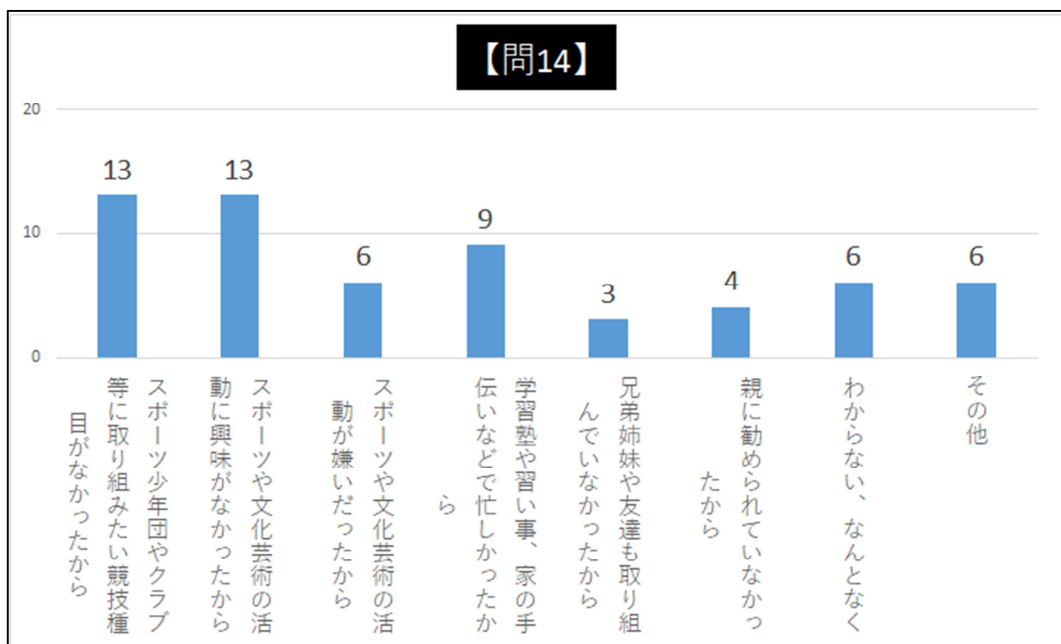
- ・陸上（8）
- ・水泳（2）
- ・野球（18）
- ・サッカー（10）
- ・バレーボール（12）
- ・バドミントン（2）
- ・卓球（2）
- ・スケート（15）
- ・柔道（1）
- ・空手（2）
- ・書道・習字（4）
- ・かるた（3）
- ・図画工作クラブ（2）
- ・文化クラブ（3）

回答対象者のうち、先の【問13】において『取り組んでいた』と回答した者の「スポーツ少年団等で取り組んでいた競技種目」は、上のとおりです。

『スケート』が最も多く、次いで『野球』『サッカー』『バレーボール』といった団体競技が続きます。

『サッカー』『バレーボール』は、先の【問11】において「部活動で取り組みたい競技種目」の上位5競技種目に入っており、継続して競技に取り組みたいということが読み取られます。

【問14】小学生の頃に、スポーツ少年団やクラブ等に所属し、スポーツや文化芸術の活動に取り組んでいなかったのはなぜですか。 ※複数回答◎（3つまで）



回答対象者のうち、先の【問13】において『取り組んでいなかった』と回答した者の「スポーツ少年団等に所属していなかった理由」は、上のとおりです。

『スポーツ少年団やクラブ等に取り組みたい競技種目がなかったから』『スポーツや文化芸術の活動に興味がなかったから』といった回答が最も多く、次いで『学習塾や習い事、家の手伝いなどで忙しいから』と続きます。

(3) 保護者

① 想定される回答者の値

なし

※浜中町内の小学校及び中学校に在籍する児童生徒の総数が357名です。
 ※児童生徒の総数は、家庭の数と一致しません。(兄弟姉妹の在籍による。)
 ※1家庭あたりの保護者の数は、一定ではありません。
 (ひとり親世帯や回答者の「保護者」の範囲による。)

② 調査結果に見る回答者の値 (各設問ごと)

p18	【問1】	回答者数	霧多布	散布	浜中	茶内
	ポイント	84	26	6	9	43

p18	【問2】	回答者数	小学校	小学校 +中学校	中学校
	ポイント	84	51	13	20

p19	【問3】	回答者数
	ポイント	63

p19	【問4】	回答者数
	ポイント	63

p20	【問5】	回答者数
	ポイント	33

p21	【問6】	回答者数	総回答数
	ポイント	29	30

p21	【問7】	回答者数
	ポイント	29

p22	【問8】	回答者数
	ポイント	29

p23	【問6】	回答者数	総回答数
	ポイント	4	4

p23	【問9】	回答者数	総回答数
	ポイント	84	224

p24	【問10】	回答者数
	ポイント	84

p24	【問11】	回答者数	総回答数
	ポイント	50	55

p25	【問11】	回答者数	総回答数
	ポイント	34	46

p26	【問12】	回答者数
	ポイント	84

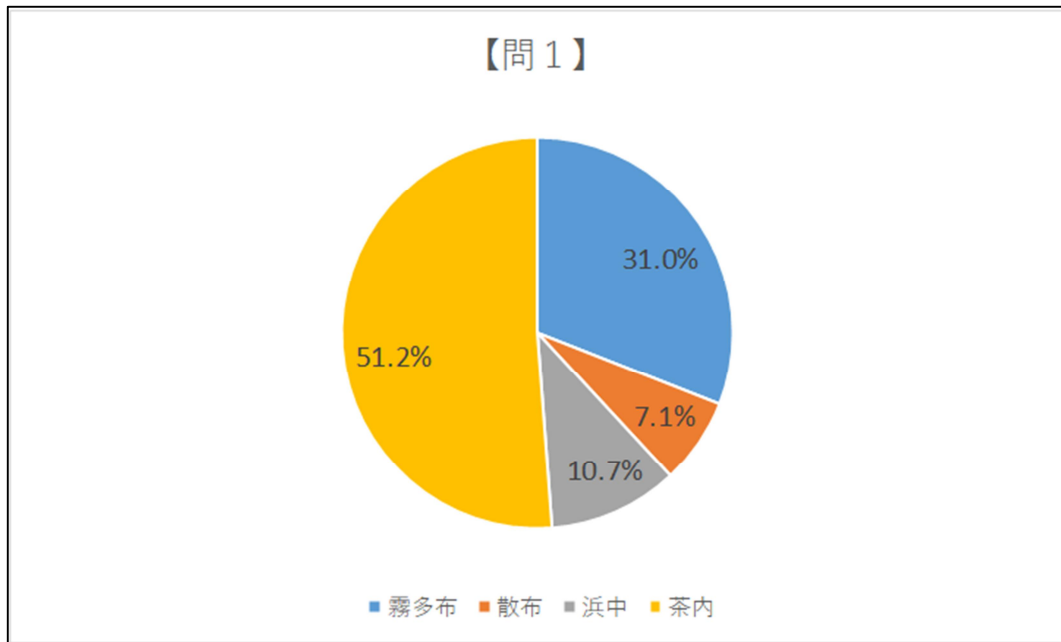
p26	【問13】	回答者数	賛成	どちらかと言 うと賛成	どちらかと言 うと反対	反対	わからない
	ポイント	83	8	26	15	9	25

p27	【問14】	回答者数
	ポイント	84

p28	【問15】	回答者数	総回答数
	ポイント	84	222

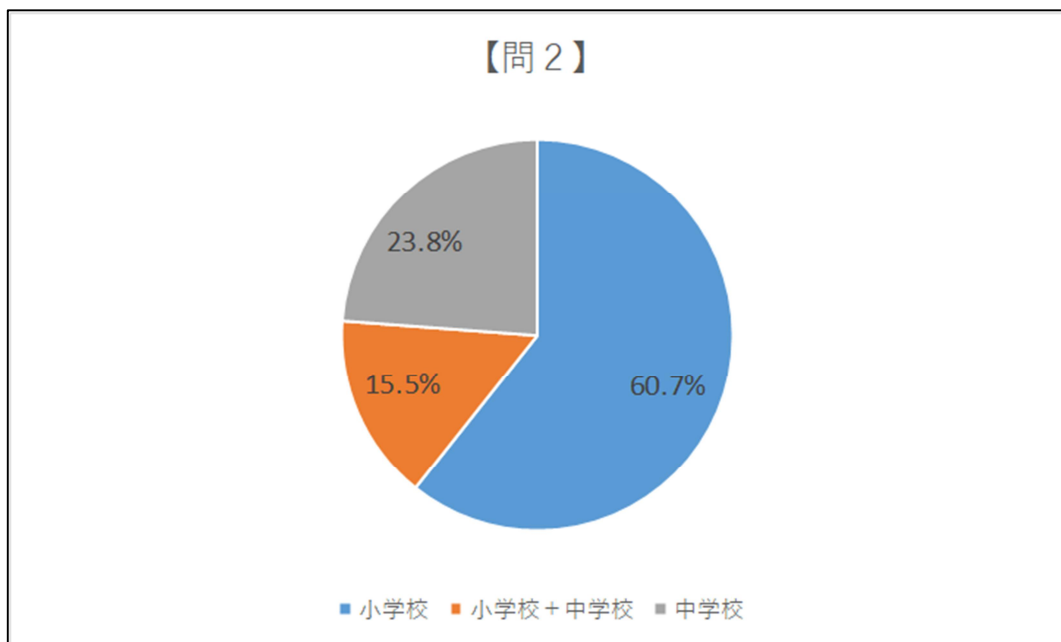
p28	【問16】	回答者数
	ポイント	84

【問 1】 保護者様が居住するどの学校区にあたりますか。



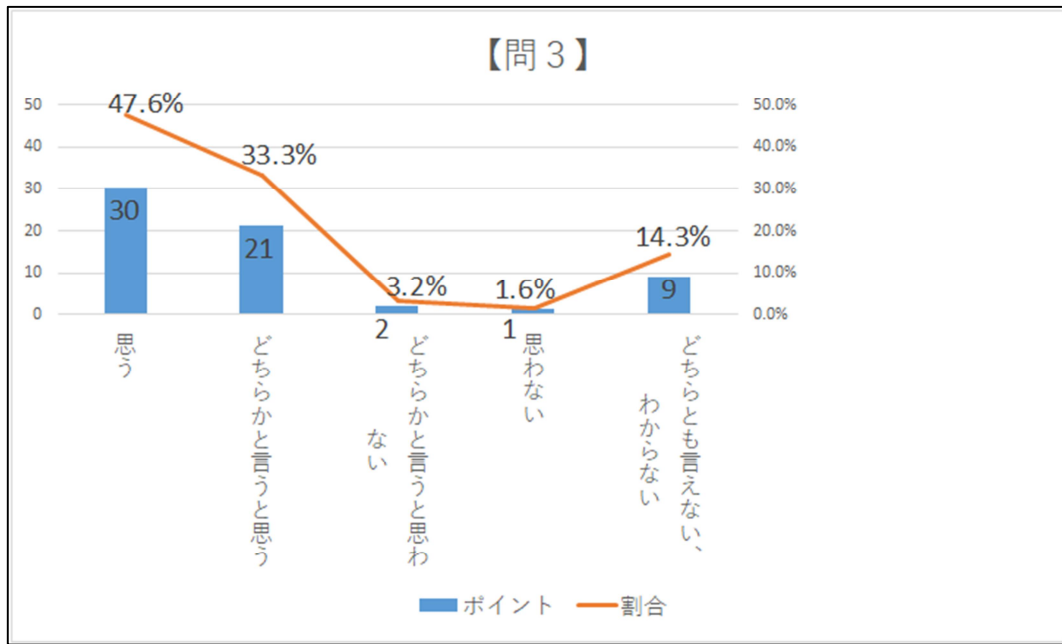
回答対象者の「居住地域」は、上の図のとおりです。

【問 2】 お子様に通われている学校の種類はどれですか。



回答対象者の「子の属性」は、上の図のとおりです。

【問3】 お子様が中学校に入学したら、部活動（同好会活動を含む）に加入して欲しいと思いますか。



回答対象者のうち、先の【問2】において『小学校』『小学校+中学校』と回答した者の「子が中学校に入学した際の部活動に加入への希望」は、上の図のとおりです。

『思う』『どちらかと言うと思う』との回答が80.9%と多く、子には部活動に取り組んでほしいという思いが読み取られます。

【問4】 問3の回答の理由はなぜですか。 ※記述式回答

○思う

- ・心身の成長、経験の獲得、学習に関する事（10）
- ・仲間づくりに関すること（5）
- ・体力を付ける、体力の向上を図る（3）
- ・現に少年団で取り組んでいる競技種目を継続してほしい（2）
- ・高等学校への進学のため（2）
- ・家に居ても怠けてしまう、ゲームばかりする等（3）
- ・運動不足の解消、体を動かしてほしい等（3）
- ・その他（4）

○どちらかと言うと思う

- ・心身の成長、経験の獲得、学習に関する事（7）
- ・仲間づくりに関すること（3）
- ・体力を付ける、体力の向上を図る（1）
- ・その他（10）

○思わない

- ・必要がない

○どちらかと言うと思わない

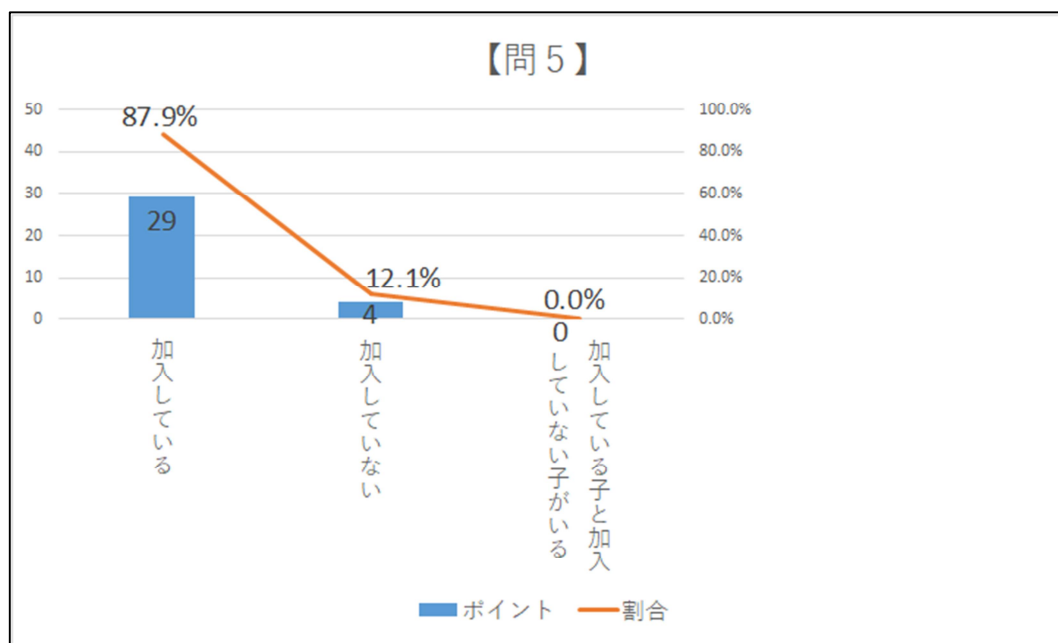
- ・保護者が協力できない理由がある
- ・帰りが遅くなる

- どちらとも言えない、わからない
- ・子の意思に基づくことだと思う（5）
 - ・部活動についてよくわからない（2）
 - ・その他（2）

回答対象者のうち、先の【問2】において『小学校』『小学校+中学校』と回答した者の「子が中学校に入学した際の部活動に加入への希望の理由」は、上のとおりです。

（詳細は別冊「資料編」の6ページから8ページを参照のこと。）

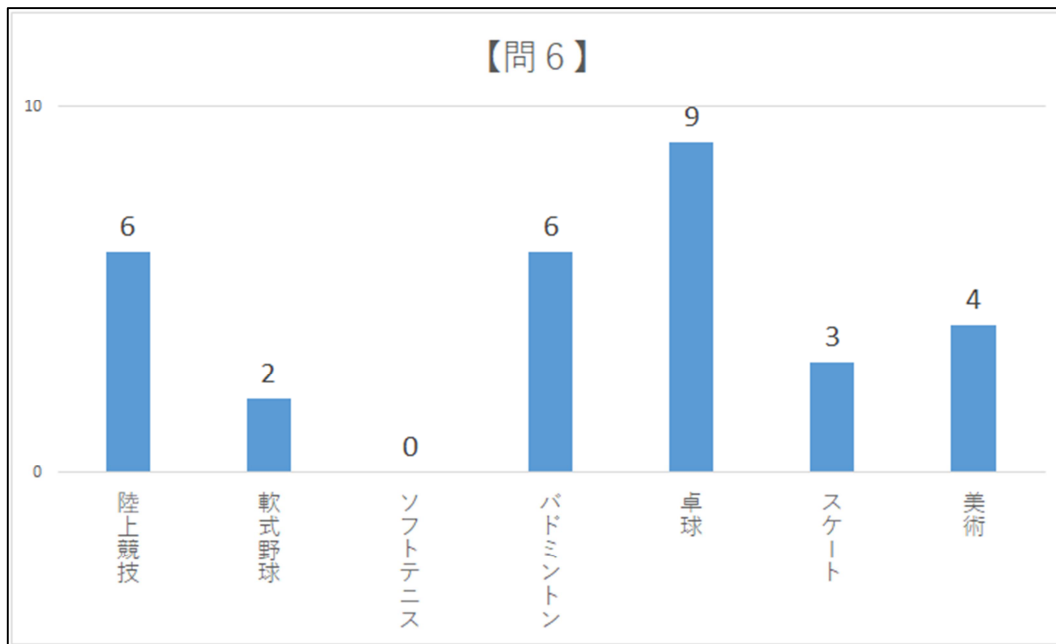
【問5】お子様は、部活動（同好会活動を含む）に加入していますか。



回答対象者のうち、先の【問2】において『小学校+中学校』『中学校』と回答した者の「中学校に通う子の部活動の加入状況」は、上の図のとおりです。

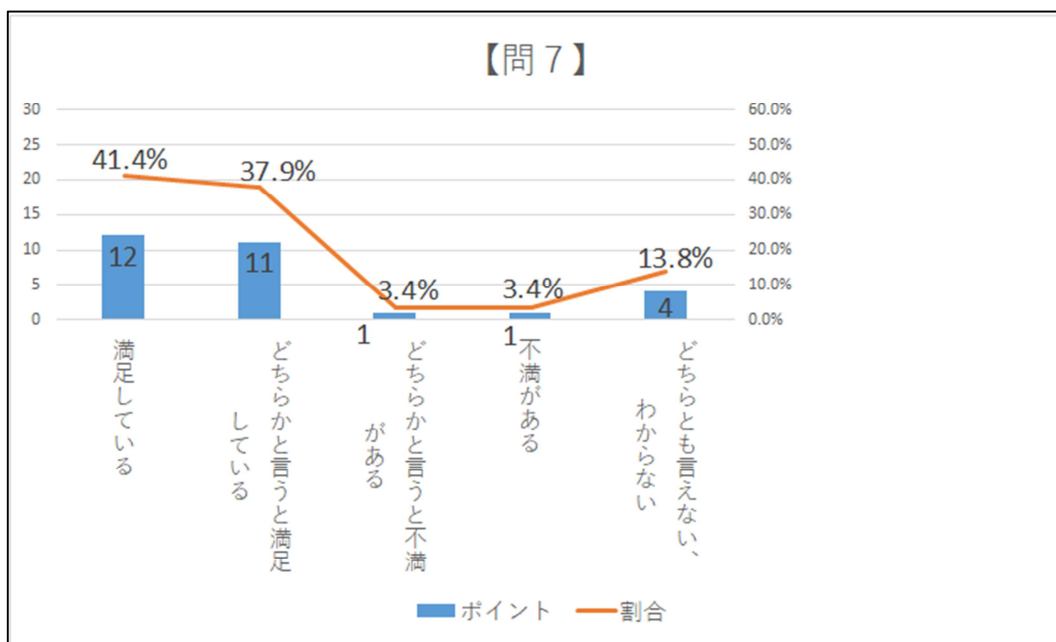
『加入している』との回答が87.9%あり、多くの家庭で中学校に通う子に対し、スポーツ・文化芸術の活動の取り組みを援助していることが分かります。

【問6】 お子様部活動（同好会活動を含む）で取り組んでいる競技種目はなんですか。



回答対象者のうち、先の【問3】において『取り組んでいる』と回答した者の「中学校に通う子が取り組んでいる部活動の競技種目」は、上の図のとおりです。

【問7】 お子様加入している部活動（同好会活動を含む）について、どのような感想をお持ちですか。



回答対象者のうち、先の【問3】において『取り組んでいる』と回答した者の「中学校に通う子が取り組んでいる部活動への感想」は、上の図のとおりです。

『満足している』『どちらかと言えば満足している』との回答が79.3%あり、概ね高く評価されていることが分かります。

【問 8】 問 7 の回答の理由をお教えてください。 ※記述式回答

○満足している

- ・子が楽しんでいるから、頑張っているから（6）
- ・指導者に専門的に教わることができるから
- ・不満がない
- ・その他（4）

○どちらかと言うと満足している

- ・子が楽しんでいるから、頑張っているから（2）
- ・指導者に不満がある（2）
- ・特になし
- ・その他（5）

○不満がある

- ・働き方改革の影響を受けている

○どちらかと言うと不満がある

- ・その他

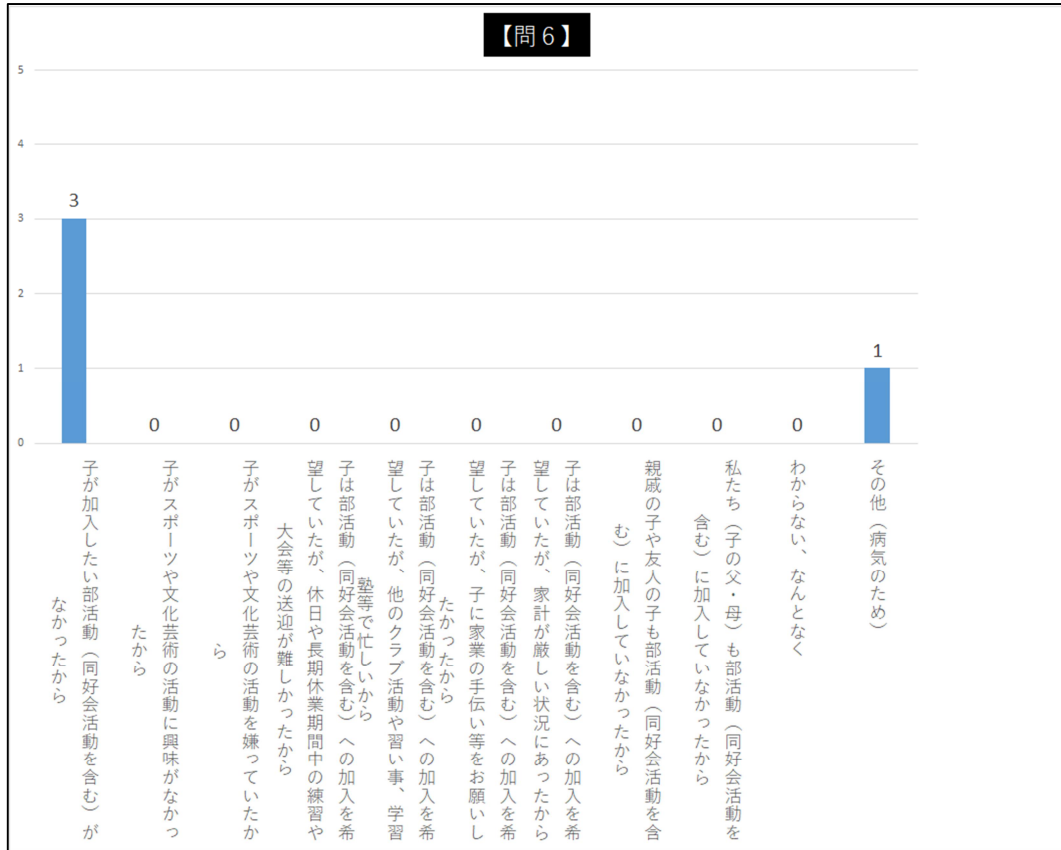
○どちらとも言えない、わからない

- ・部活動の競技種目が選ぶほどない
- ・部活動とにての目的がわからない
- ・スポーツ少年団で取り組んでいた競技種目を中学校でも継続して取り組みたい

回答対象者のうち、先の【問 3】において『取り組んでいる』と回答した者の「中学校に通う子が取り組んでいる部活動への感想の理由」は、上のとおりです。
（詳細は別冊「資料編」の 9 ページ、10 ページを参照のこと。）

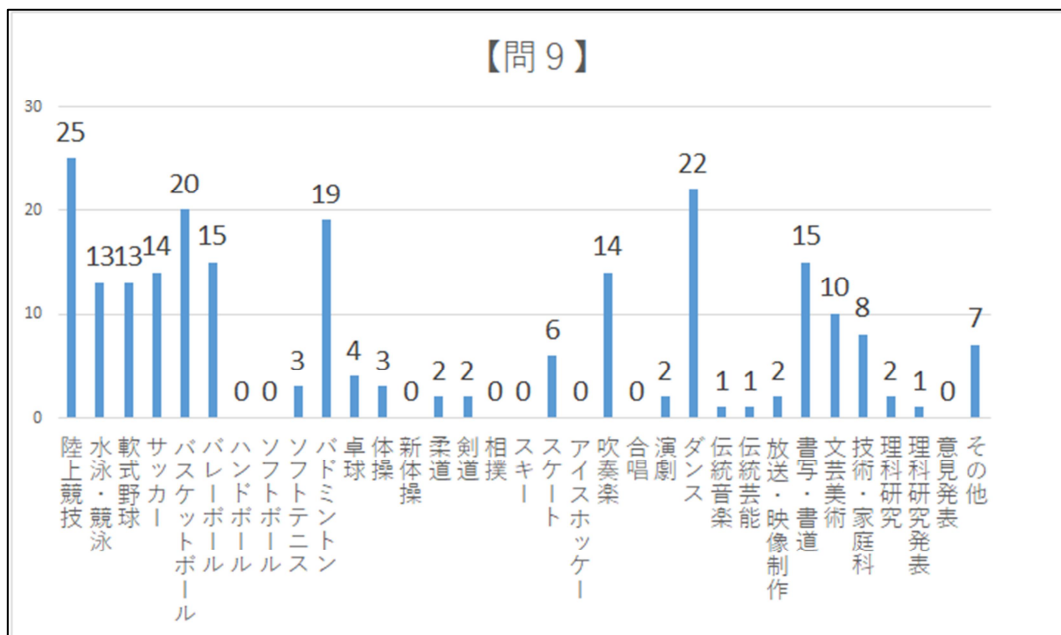
【問6】 お子様部活動（同好会活動を含む）に加入しなかった理由はなんですか。

※複数回答◎（3つまで）



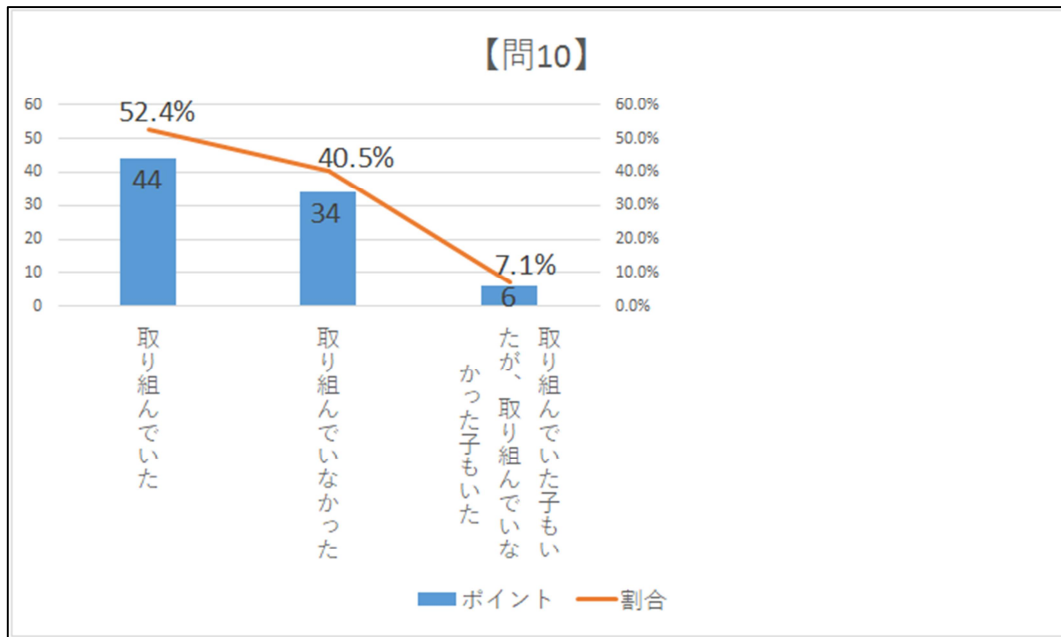
回答対象者のうち、先の【問3】において『取り組んでいない』と回答した者の「中学校に通う子が部活動に加入していない理由」は、上の図のとおりです。
『子が加入したい部活動（同好会活動を含む）がなかったから』との回答が最も多くありました。

【問9】 中学校の部活動（同好会活動を含む）にはどのような競技種目があれば良いと思いますか。 ※複数回答◎（3つまで）



回答対象者の「中学校の部活動にあると良いと思う競技種目」は、上の図のとおりです。

【問10】 お子様は、小学生の頃にスポーツ少年団やクラブに所属し、スポーツや文化芸術の活動に取り組んでいましたか。



回答対象者の「中学校に通う子の小学生時代のスポーツ少年団等の加入状況」は、上の図のとおりです。

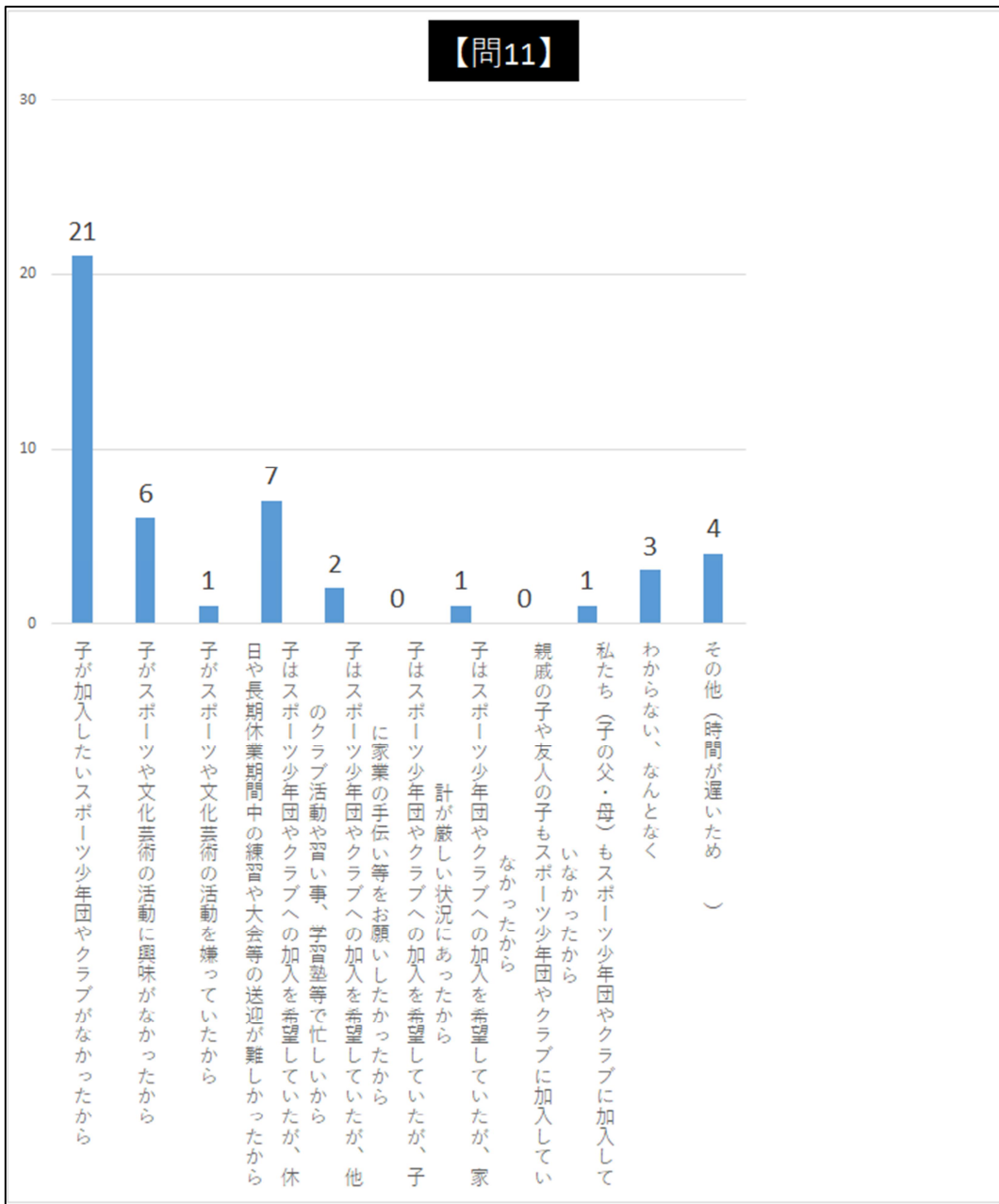
『取り組んでいた』との回答が52.4%ありました。

【問11】 お子様は小学生の頃にスポーツ少年団やクラブでのスポーツや文化芸術の活動で取り組んでいた競技種目はなんですか。 ※記述式回答

- ・陸上（1）
- ・水泳（4）
- ・野球（5）
- ・サッカー（8）
- ・バレーボール（8）
- ・バドミントン（1）
- ・体操（2）
- ・剣道（1）
- ・スケート（9）
- ・空手（4）
- ・運動（2）
- ・吹奏楽（3）
- ・ダンス（3）
- ・習字（2）
- ・ピアノ（2）

回答対象者のうち、先の【問10】において『取り組んでいた』と回答した者の「スポーツ少年団等で取り組んでいた競技種目」は、上の図のとおりです。

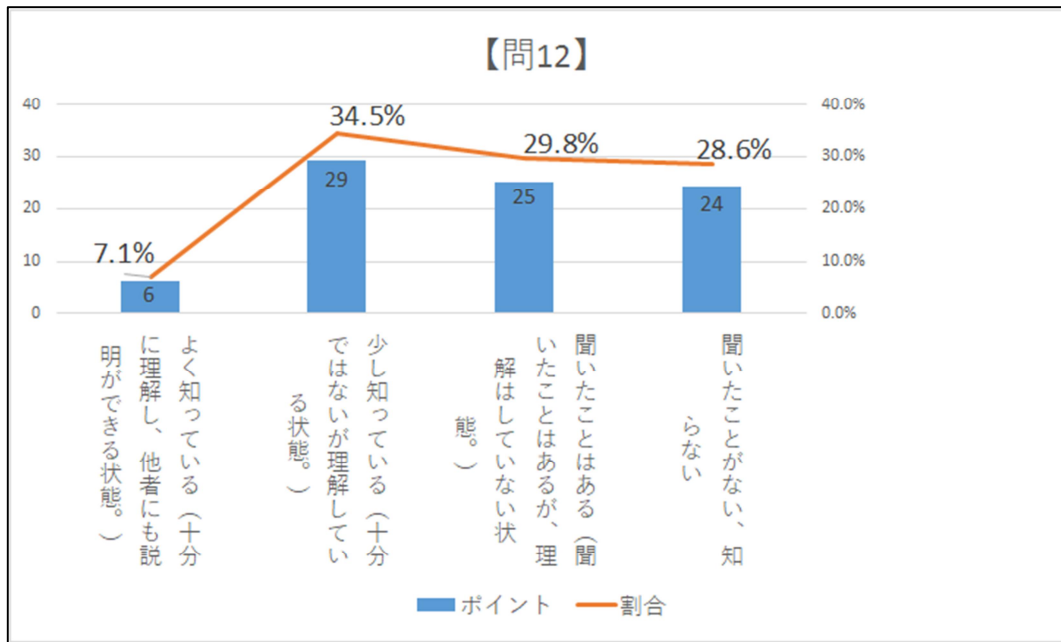
【問11】 お子様は小学生の頃にスポーツ少年団やクラブでのスポーツや文化芸術の活動に取り組まなかった理由はなんですか。 ※複数回答◎（3つまで）



回答対象者のうち、先の【問10】において『取り組んでいた』と回答した者の「スポーツ少年団等に参加していなかった理由」は、上の図のとおりです。

『子が加入したスポーツ少年団やクラブがなかった』との回答が最も多く、次いで『子はスポーツ少年団やクラブへの加入を希望していたが、休日や長期休業期間中の練習や大会等の送迎が難しかったから』『子がスポーツや文化芸術の活動に興味がなかったから』と続きます。

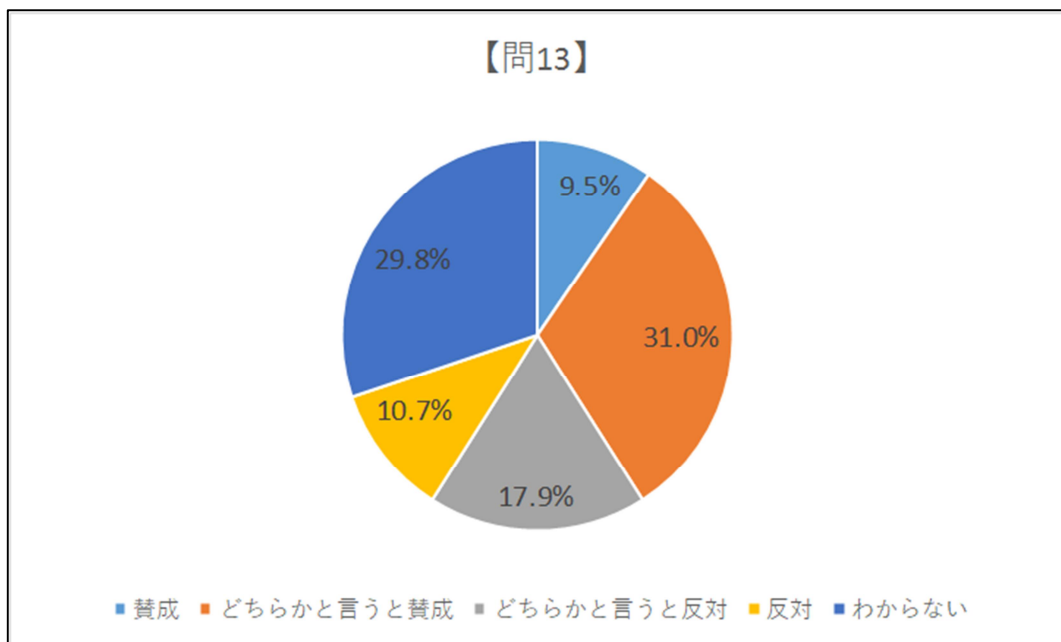
【問12】 国（スポーツ庁・文化庁）が推進する「部活動の地域移行」について知っていますか。



回答対象者の「部活動の地域移行に関する認知度」は、上の図のとおりです。

『よく知っている（十分に理解し、他者にも説明ができる状態。）』との回答は7.1%と低い一方、『少し知っている（十分ではないが理解している状態。）』『聞いたことはある（聞いたことはあるが、理解はしていない状態。）』といった回答が64.3%ありました。また、『聞いたことがない、知らない』との回答が28.6%に上りました

【問13】 部活動の地域移行では、現在は学校が行っている部活動（同好会活動を含む）について、今後、段階的に学校から切り離して地域に移行し「地域クラブ活動」とする方針を示しています。それについてどのように思いますか。



回答対象者の「部活動の地域移行に対する賛否」は、上の図のとおりです。

『賛成』『どちらかと言うと賛成』との回答が40.5%、『反対』『どちらかと言うと反対』28.6%となりました。

【問14】 問13の回答の理由をお教えてください。 ※記述式回答

○賛成

- ・教員の負担を減らすため（5）
- ・教員が受け持つ部活動の競技種目を専門的に指導できるとは限らない、教員以外で専門的に教えられる人に教わった方が良い（2）
- ・今までと変わらないと思う、部活動の地域移行は実現できないと思う（2）

○どちらかと言うと賛成

- ・教員の負担を減らすため（5）
- ・教員が受け持つ部活動の競技種目を専門的に指導できるとは限らない、教員以外で専門的に教えられる人に教わった方が良い（2）
- ・指導者の確保に対する不安（5）
- ・その他（13）

○反対

- ・部活動は学校で行うもの（2）
- ・指導者の確保に対する不安（3）
- ・教員と生徒のコミュニケーションが減る（2）
- ・その他（2）

○どちらかという反対

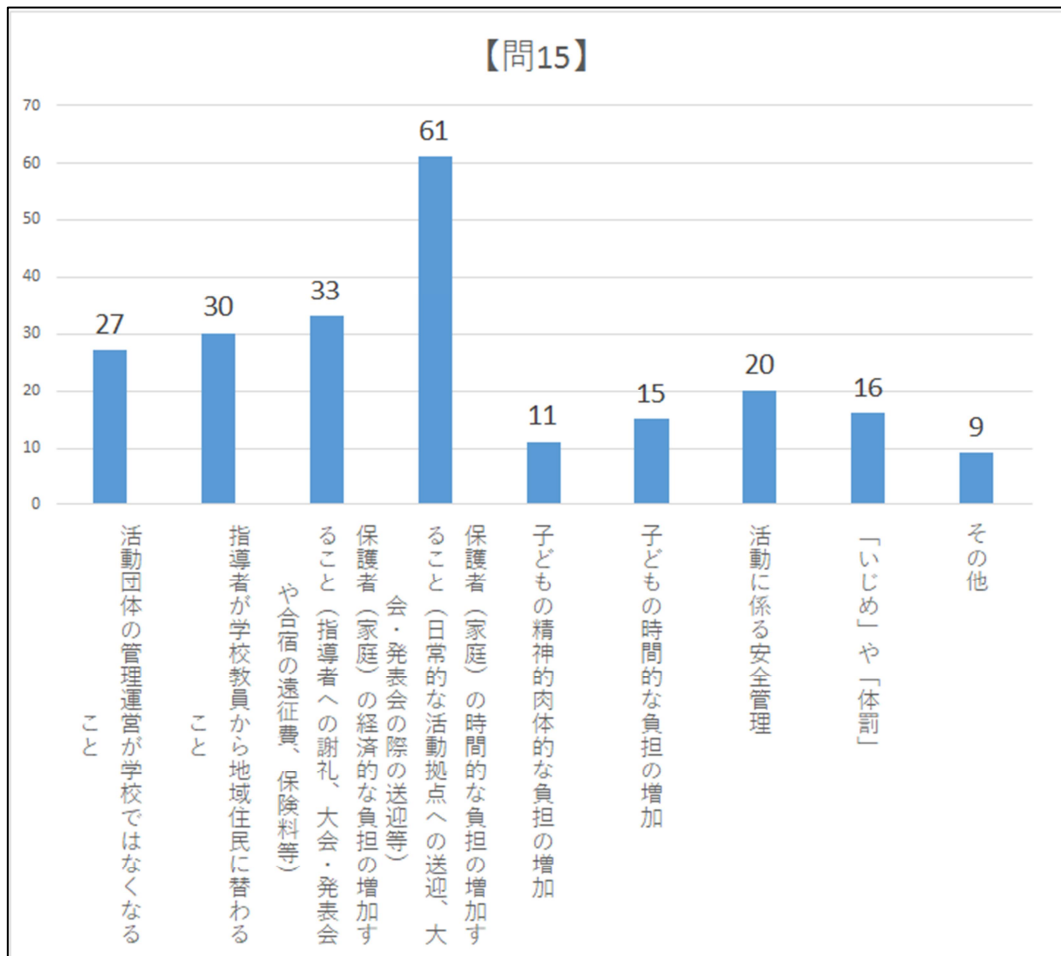
- ・部活動は学校で行うもの（3）
- ・指導者の確保に対する不安（2）
- ・地域が担うには限界がある（2）
- ・保護者の負担が増加する（6）
- ・その他（3）

○わからない

- ・指導者の確保に対する不安（5）
- ・保護者の負担が増加する（2）
- ・わからない（7）
- ・その他（7）

回答対象者の「部活動の地域移行に対する賛否の理由」は上のおりです。
（詳細は別冊「資料編」の11ページから14ページを参照のこと。）

【問15】 部活動の地域移行で「部活動」が「地域クラブ活動」となった場合に保護者様の立場として不安なことはなんですか。 ※複数回答◎（3つまで）



回答対象者の「部活動の地域移行が進められるに差し当たって、不安なこと」は上の図のとおりです。

『保護者（家庭）の時間的な負担の増加すること』との回答が群を抜いて多く、次いで『保護者（家庭）の経済的な負担の増加すること』『指導者が学校教員から地域住民に替わること』『活動団体の管理運営が学校ではなくなること』が僅差で並んでいます。

今日にある部活動の形が失われることに対する不安感が読み取られます。

【問16】 「部活動の地域移行」を推し進めることにあたり、町や町教育委員会に意見や要望はありますか。 ※記述式回答

- ・保護者の時間的な負担の軽減、送迎バスの運行（37）
- ・保護者の経済的な負担の軽減、補助金制度の設立（16）
- ・指導者の確保、指導者の専任、指導者の処遇等（9）
- ・子どもたちが取り組むことができる競技種目の選択肢が広がる
- ・その他（5）

回答対象者の「部活動の地域移行に関わる町や町教育委員会への意見や要望」は、上のとおりです。

先の【問15】において、最も回答数が多かった「保護者の時間的な負担」に関する意見が多くありました。

（詳細は別冊「資料編」の15ページから17ページを参照のこと。）

(4) 教職員

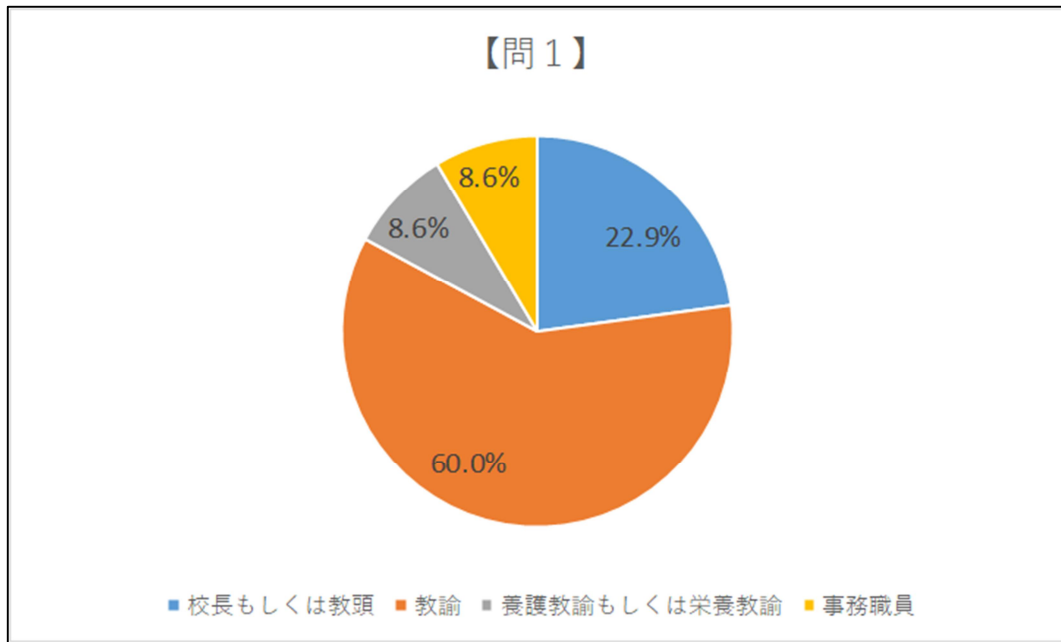
① 想定される回答者の値

	総 数	校長 もしくは 教頭	教諭	養護教諭 もしくは 栄養教諭	事務職員
総 数	46	8	30	5	3

② 調査結果に見る回答者の値 (各設問ごと)

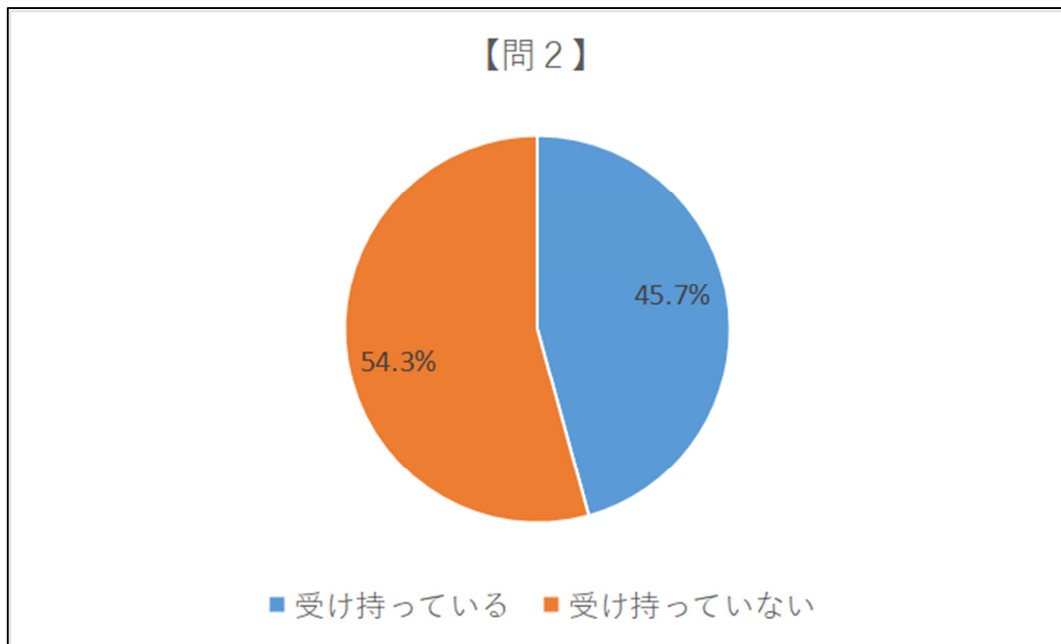
p30	【問 1】	回答者数	校長 もしくは 教頭	教諭	養護教諭 もしくは 栄養教諭	事務職員	
	ポイント	35	8	21	3	3	
p30	【問 2】	回答者数	受け持っている	受け持っていない			
	ポイント	35	16	19			
p31	【問 3】	回答者数	総回答数				
	ポイント	16	28				
p32	【問 4】	回答者数			p32	【問 5】	
	ポイント	16				回答者数	
						ポイント	
						16	
p33	【問 3】	回答者数	総回答数				
	ポイント	19	25				
p34	【問 4】	回答者数	関わりたい と思う	関わりたい とは思わな い	どちらとも 言えない		
	ポイント	19	1	7	11		
p34	【問 5】	回答者数					
	ポイント	19					
p35	【問 6】	回答者数					
	ポイント	35					
p35	【問 7】	回答者数	賛成	どちらか と言うと 賛成	どちらか と言うと 反対	反対	わからない
	ポイント	35	23	9	1	0	2
p36	【問 8】	回答者数					
	ポイント	35					
p36	【問 9】	回答者数	関わりたい	どちらか と言うと 関わっても 良い	どちらか と言うと 関わりた くない	関わりたく ない	どちらとも 言えない、 まだ考 えてい ない
	ポイント	35	3	7	5	8	12
p37	【問10】	回答者数			p37	【問11】	回答者数
	ポイント	35				ポイント	35

【問 1】 あなたの所属学校での職をお教えてください。



回答対象者の「職」は、上の図のとおりです。

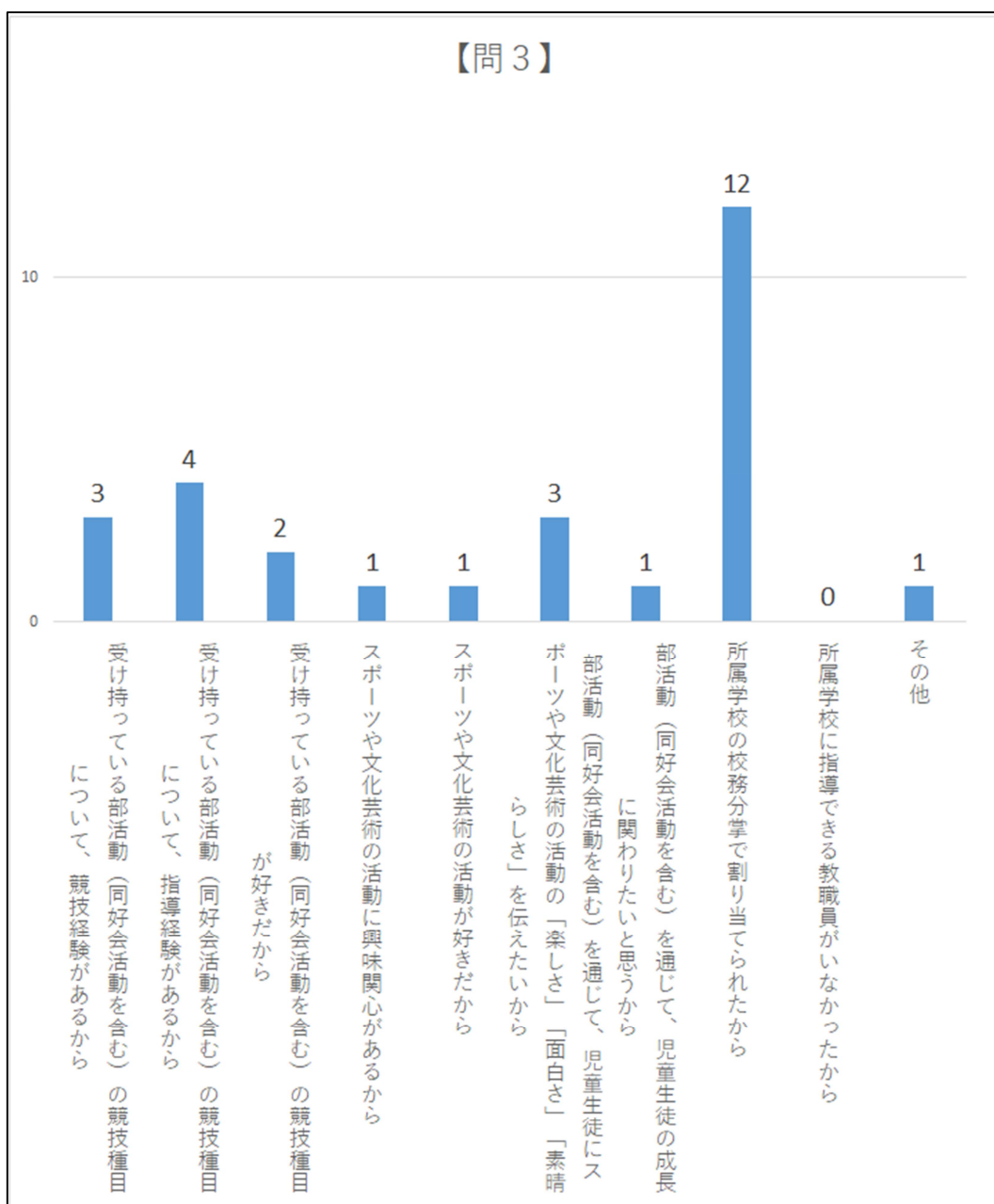
【問 2】 今現在、あなたは所属学校で部活動（同好会活動を含む）を受け持っていますか。



回答対象者の「部活動の受け持ち状況」は、上の図のとおりです。

【問3】今現在、あなたが部活動（同好会活動を含む）を受け持っているのは何故ですか。

※複数回答㊦（3つまで）



回答対象者のうち、先の【問2】において『受け持っている』と回答した者の「部活動を受け持っている理由」は、上の図のとおりです。

【問 4】今現在、あなたが部活動（同好会活動を含む）を受け持っている、良かったと思うこと（やり甲斐）があれば教えてください。 ※記述式回答

- ・運動部経験の自分にとって、文化系の部活は新鮮で、やったことないことに触れられて考え方も変わったことから、良かったと思う。
- ・授業とは違う関わりがあること
- ・生徒理解・生徒指導の機会が増えること。
- ・幅広い年齢の子に対して指導するので、子どもに対する関わり方の学びになる。
- ・部活動を通しての生徒の良さが発見できる
- ・生徒の技術的成長、精神的成長を近くで見ることができるから。
- ・児童理解の場が増えた
- ・部活動を通しての生徒の成長を実感したと感じた時
- ・生徒と共に体を動かせる。運動や集団行動の指導ができる。
- ・子どもが目標を達成して、満足している時
- ・特になし（6）

回答対象者のうち、先の【問 2】において『受け持っている』と回答した者の「部活動を受け持つメリット」は、上の図のとおりです。

（詳細は別冊「資料編」の18ページを参照のこと。）

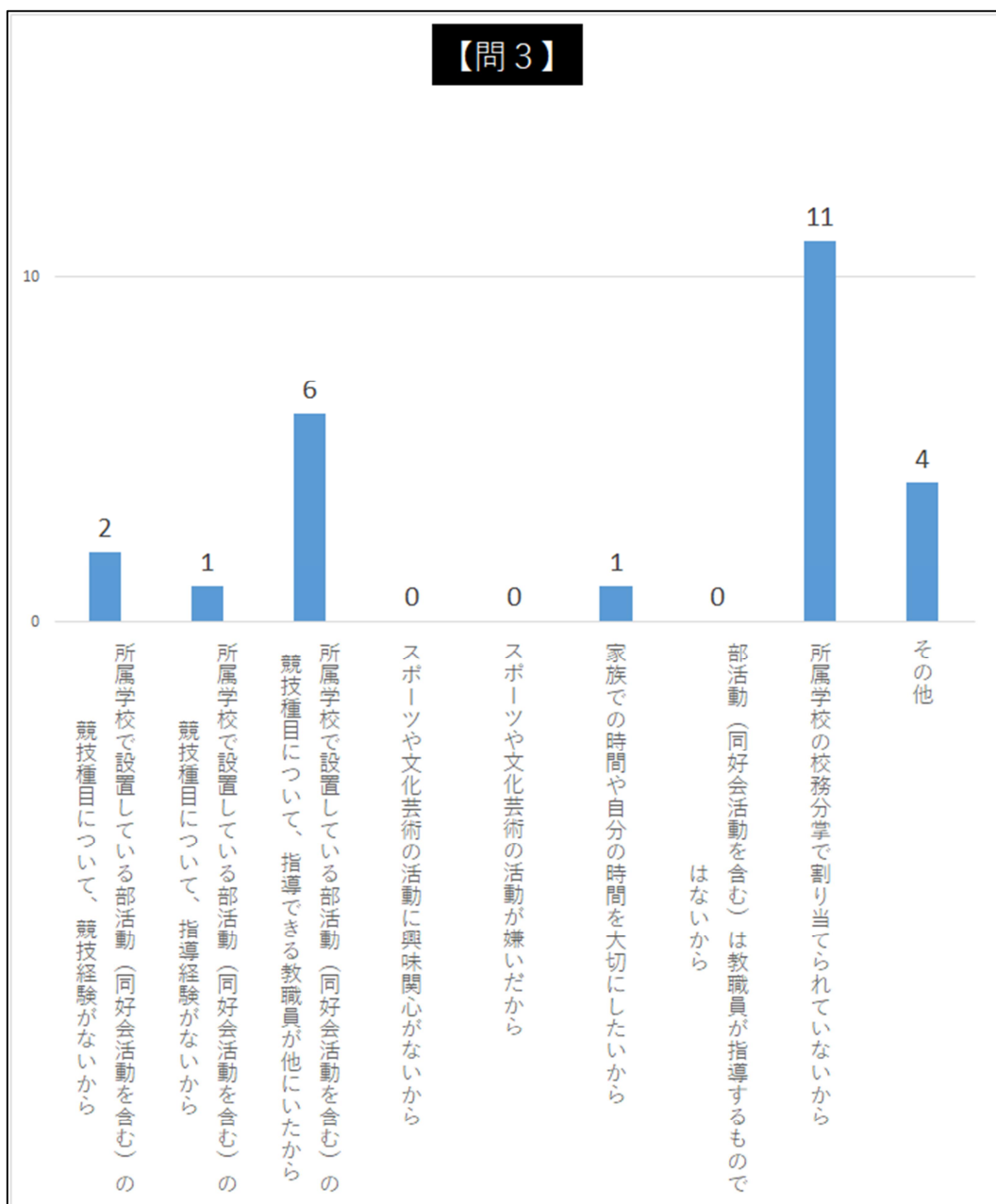
【問 5】今現在、あなたが部活動（同好会活動を含む）を受け持っている、辛い・苦しいと思うこと（困りごと）があれば教えてください。 ※記述式回答

- ・勤務時間内外での拘束（3）
- ・協議経験がないため、専門的指導ができない（2）
- ・勤務時間内に部活があることで業務が終わらないこと。
- ・勤務時間を過ぎてまで指導にあたらなといけないこと
- ・退勤時間が遅くなる。定時に帰ることが出来ない。
- ・放課後の時間が削られ、それに伴って帰宅時刻が遅れること
- ・大会は、釧路で行われることが基本であることから、移動に時間を要すること
- ・休日に家族との時間が取れないことがあった。
- ・見通しが持てない
- ・特になし（4）

回答対象者のうち、先の【問 2】において『受け持っている』と回答した者の「部活動を受け持つデメリット」は、上の図のとおりです。

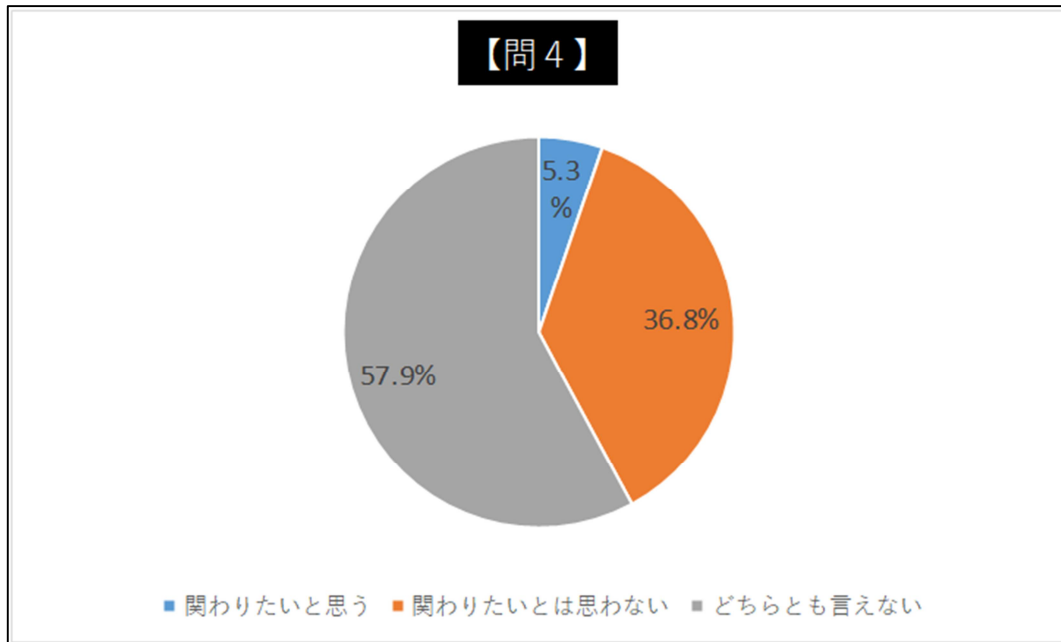
（詳細は別冊「資料編」の18ページを参照のこと。）

【問3】 今現在、あなたが部活動（同好会活動を含む）を受け持っていないのは何故ですか。
 ※複数回答◎（3つまで）



回答対象者のうち、先の【問2】において『受け持っていない』と回答した者の「部活動を受け持っていない理由」は、上の図のとおりです。

【問4】 今後、あなたは部活動（同好会活動を含む）に関わりたいと思いますか。



回答対象者のうち、先の【問2】において『受け持っていない』と回答した者の「今後、部活動の指導に関わる意欲」は、上の図のとおりです。

【問5】 問4の回答の理由をお教えてください。

※記述式回答

- 関わりたいと思う
 - ・管理職なので指導はしないが、指導者が指導しやすい環境整備や子どもたちが活動しやすい環境整備等に尽力したい。

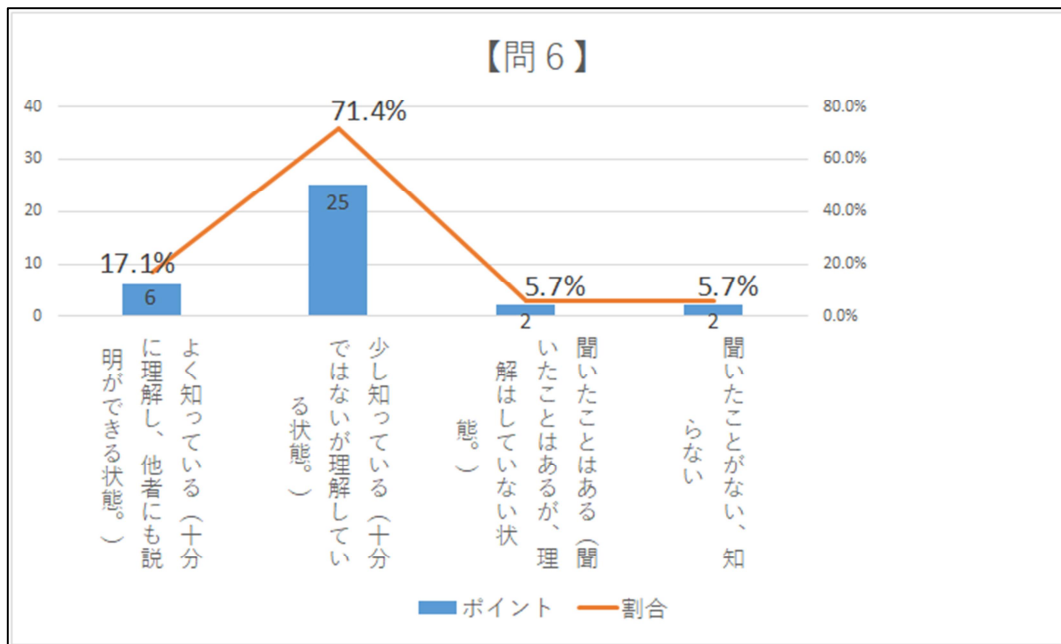
- 関わりたいとは思わない
 - ・プライベートを大事にしたい
 - ・自分の職務に専念したいから。
 - ・本来の業務を行う時間が圧迫されるから
 - ・勤務外の負担が大きい。初任校では夕方4時～6時はその同好会の活動シーズンはほぼ毎日同好会指導にとられ、学級業務や教材研究等はそれ以降に持ち越されていた。同様の状態が今でもあるなら問題と思う。
 - ・他の業務で時間が取れない

- どちらとも言えない
 - ・必要であれば手伝ってあげたい気持ちはあるが、専門的な知識や技術を持った外部の人がやってくれるなら教職員は不要かと。
 - ・必要であれば考えたいと思うから。
 - ・地域からの要請や、受け持つ場合の補償なども含めてではあるが、考える余地はある。
 - ・将来的にはリタイアするので、機会があれば関わりたいと思っている。
 - ・業務軽減の為に協力したい。
 - ・わからない

回答対象者のうち、先の【問2】において『受け持っていない』と回答した者の「今後、部活動の指導に関わる意欲の理由」は、上の図のとおりです。

(詳細は別冊「資料編」の19ページを参照のこと。)

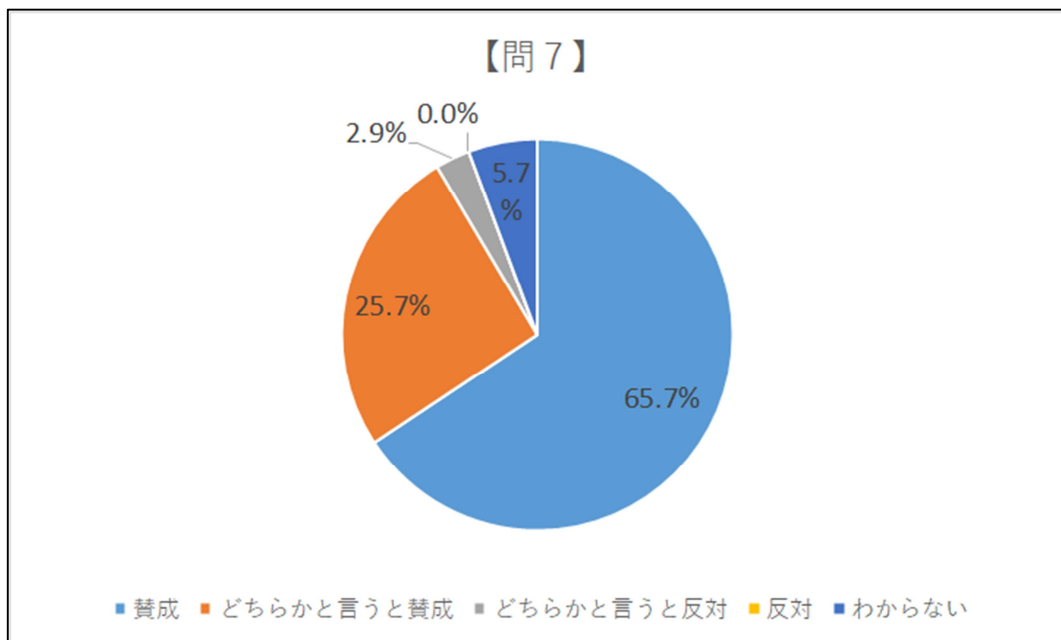
【問 6】 国（スポーツ庁・文化庁）が推進する「部活動の地域移行」について知っていますか。



回答対象者の「部活動の地域移行に関する認知度」は、上の図のとおりです。

『よく知っている（十分に理解し、他者にも説明ができる状態。）』との回答は 17.1%と多いとはいえませんが、『少し知っている（十分ではないが理解している状態。）』が 71.4%あり、認知度は高いといえます。

【問 7】 部活動の地域移行では、現在は学校が行っている部活動（同好会活動を含む）について、今後、段階的に学校から切り離して地域に移行し「地域クラブ活動」とする方針を示しています。それについてどのように思いますか。



回答対象者の「部活動の地域移行に対する賛否」は、上の図のとおりです。

『賛成』『どちらかと言うと賛成』が 91.4%あり、多くの教職員が部活動の地域移行に対し賛成していることが分かります。

【問 8】 問 7 の回答の理由をお教えてください。 ※記述式回答

- 賛成
 - ・学校の負担軽減、教員の負担軽減、教員の処遇改善、働き方改革（17）
 - ・競技や指導の経験がない競技種目を指導することが困難、危険（3）
 - ・その他（3）

- どちらかと言うと賛成
 - ・学校の負担軽減、教員の負担軽減、働き方改革（5）
 - ・競技や指導の経験がない競技種目を指導することが困難、危険
 - ・部活動での競技指導に関わりたい教員もいると思う（2）
 - ・その他（2）

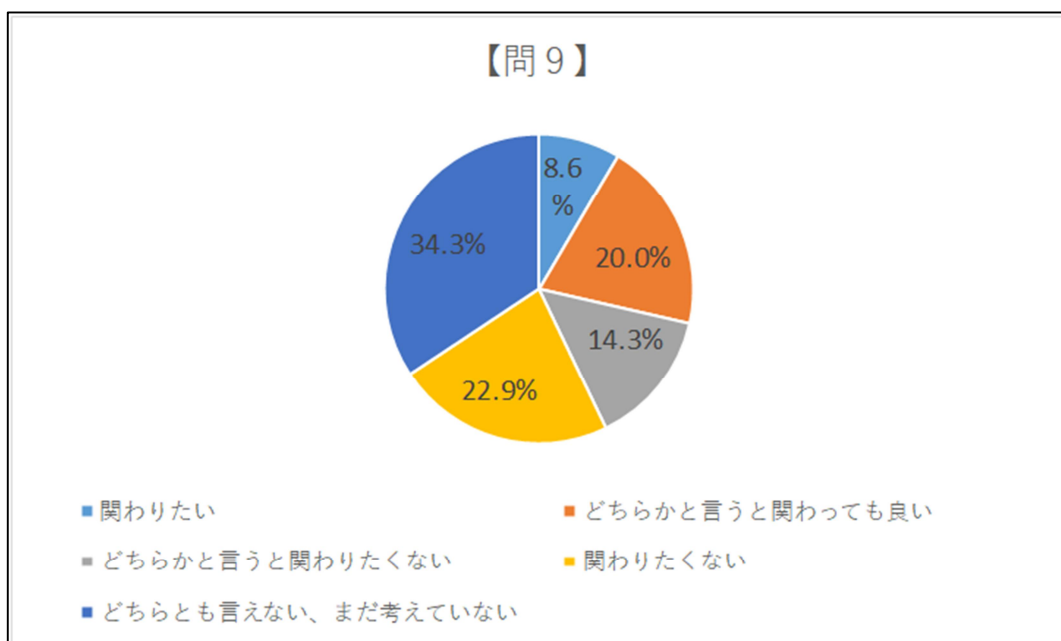
- どちらかと言うと反対
 - ・生徒と触れ合う大切な機会だと思うため。ただ、地域に任せたい人は任せれば良いし、部活を指導したい人は指導するなど、希望によって帰ることが一番良いと思う

- わからない
 - ・競技によって人口が違い、地域でも指導できる人が限られてしまうのではないのでしょうか。
 - ・わからない

回答対象者のうち、先の【問 7】「部活動の地域移行に対する賛否」の回答の理由は、上のおりです。

（詳細は別冊「資料編」の 20 ページから 22 ページを参照のこと。）

【問 9】 部活動の地域移行で「部活動」が「地域クラブ活動」となった場合にあなたは地域の一員として地域クラブ活動での指導に関わりたいと思いますか。



回答担当者の「部活動の地域移行後に指導に関わる意欲」は、上の図のとおりです。

【問10】 問9の回答の理由をお教えください。 ※記述式回答

- 関わりたい
 - ・子どもたちの成長のためになるから
 - ・自身の経験を活かすことができるから (2)

- どちらかと言うと関わっても良い
 - ・子どもたちの成長のためになるから
 - ・生徒との信頼関係を築くことができる
 - ・自身の経験を生かすことができるから (3)
 - ・負担が軽減されるのであれば (3)

- 関わりたくない
 - ・教員の業務に集中したい、教員の業務ではないから (4)
 - ・その他 (3)

- どちらかと言うと関わりたくない
 - ・自分や家族との時間を大切にしたい (3)
 - ・その他 (2)

- どちらとも言えない、まだ考えていない
 - ・機会があれば、指導し易い環境があれば (2)
 - ・部活動の地域移行についてよくわかっていない等 (3)
 - ・その他 (6)

回答対象者のうち、先の【問9】「部活動の地域移行後に指導に関わる意欲」の回答の理由は、上のとおりです。

(詳細は別冊「資料編」の22ページから24ページを参照のこと。)

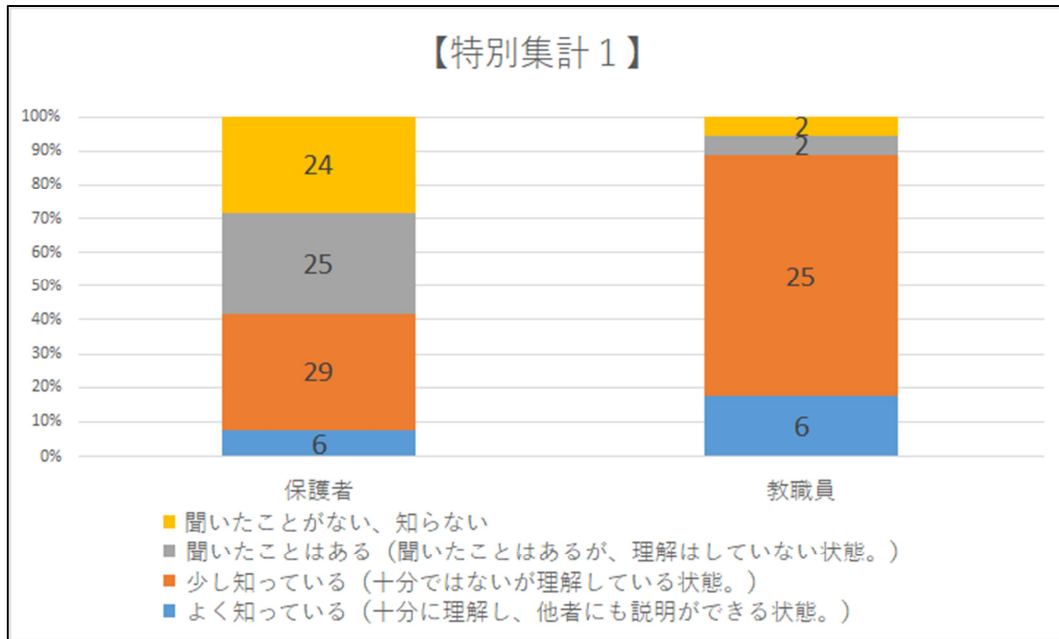
【問11】 仮に、あなたが「地域クラブ活動」の指導に関わるとしたら、どのような競技種目を指導したいと思いますか。 ※記述式回答

- ・経験のある競技、興味のある競技 (2)
- ・陸上競技
- ・野球 (4)
- ・サッカー (2)
- ・バスケットボール (3)
- ・バレーボール (2)
- ・ハンドボール
- ・ソフトテニス
- ・卓球
- ・スキー
- ・スケート (2)
- ・弓道
- ・ラグビー
- ・書道
- ・競技種目は不問

回答対象者の「地域クラブ活動を指導すると仮定して、指導したい競技種目」は、上のとおりです。

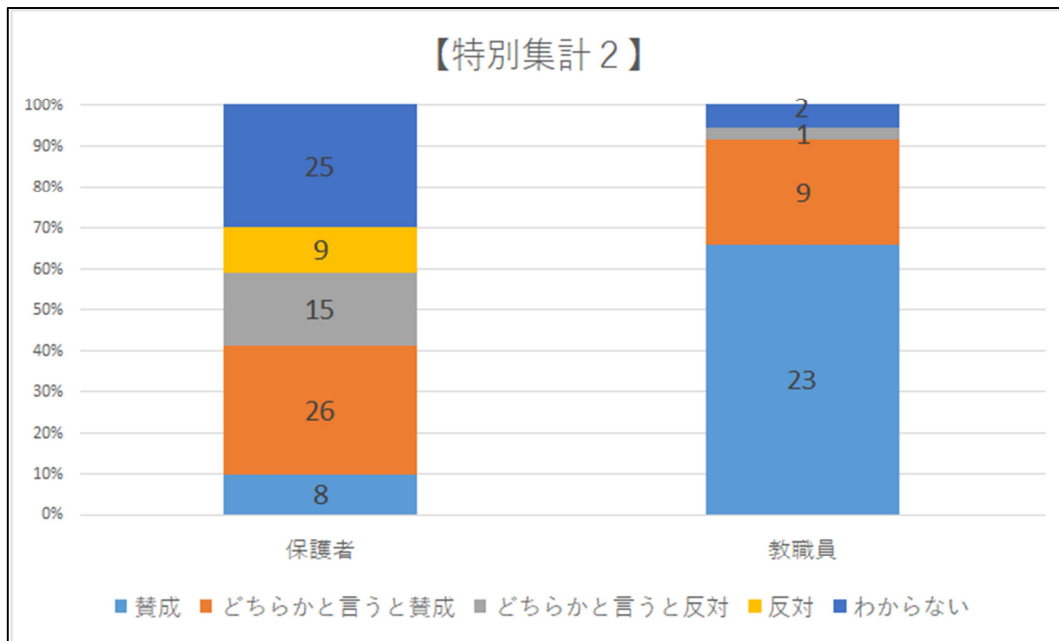
(5) 特別集計

○部活動の地域移行に関する認知度



「特別集計 1」では、保護者と教職員での部活動の地域移行に関する認知度の違いを示しています。

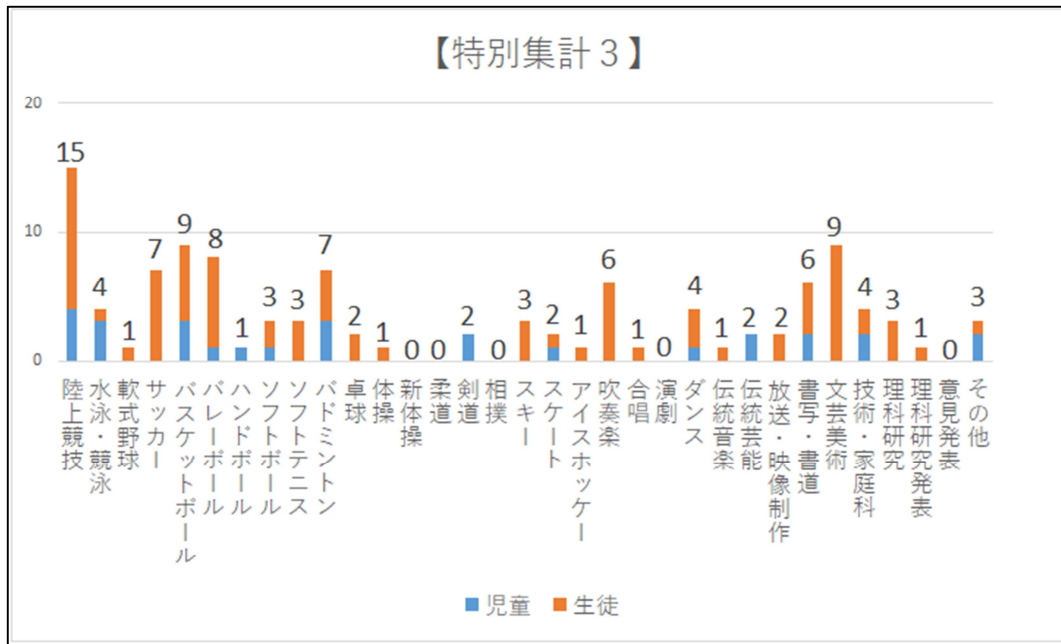
○部活動の地域移行に対する賛否



「特別集計 2」では、保護者と教職員での部活動の地域移行に対する賛否の違いを示しています。

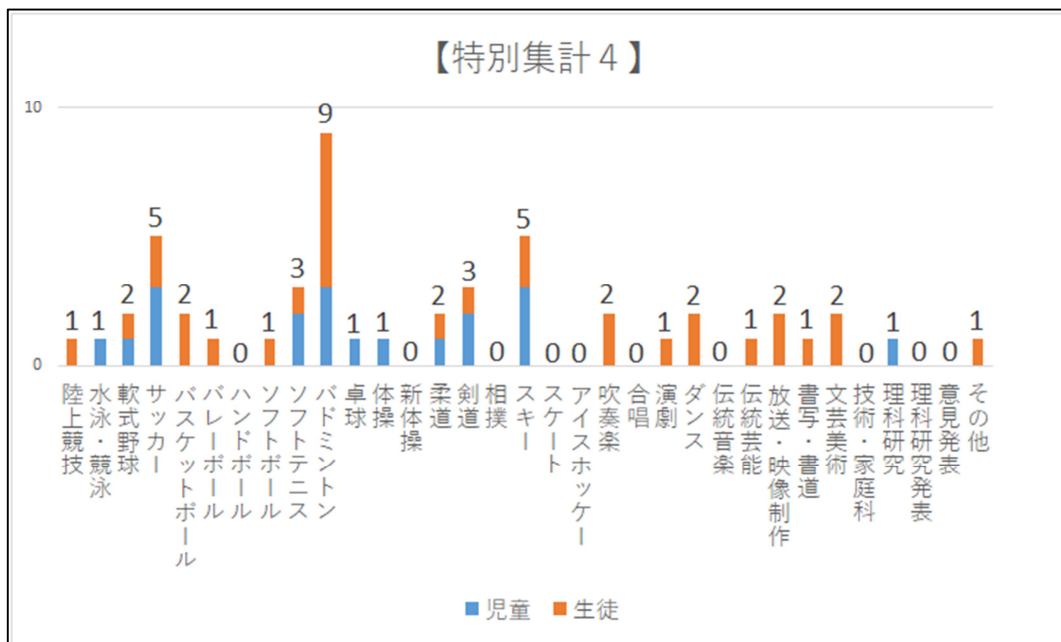
一 特別集計 一

○部活動にあつたら取り組んでみたい競技種目（霧多布学校区限定版）



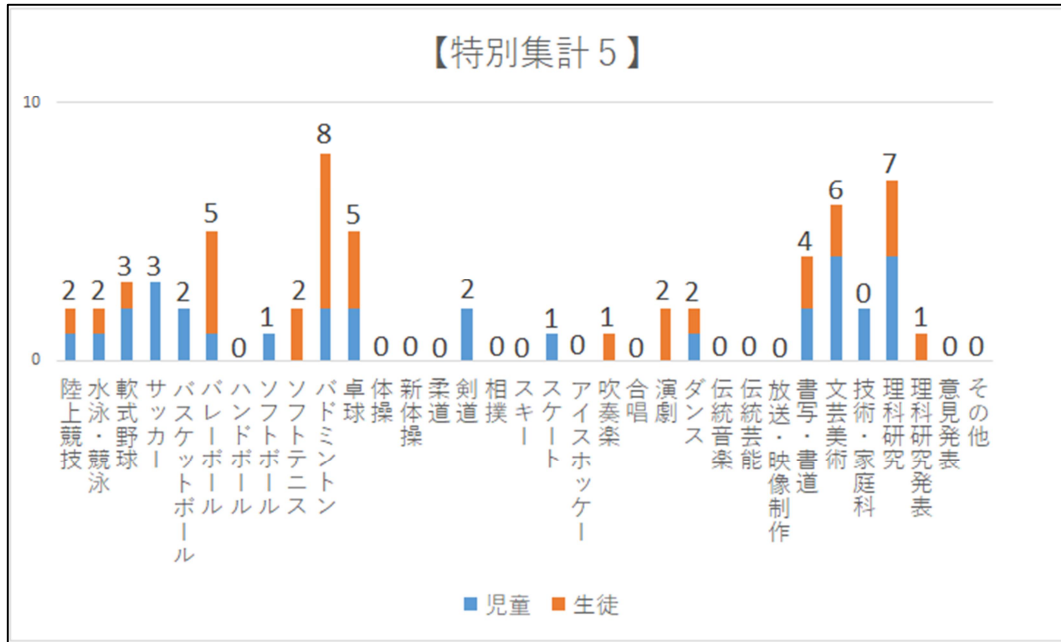
「特別集計 3」では、浜中町立霧多布小学校の児童（5・6年生）及び浜中町立霧多布中学校の生徒が『中学校の部活動に設置されていたら取り組んでみたい競技種目』を示しています。

○部活動にあつたら取り組んでみたい競技種目（散布学校区限定版）



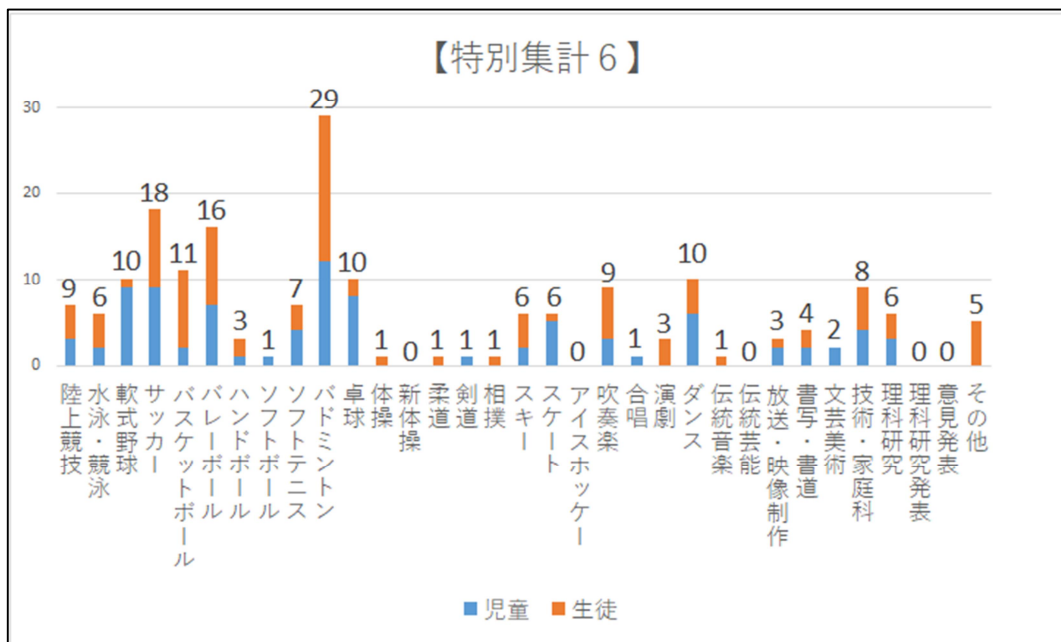
「特別集計 4」では、浜中町立散布小学校の児童（5・6年生）及び浜中町立散布中学校の生徒が『中学校の部活動に設置されていたら取り組んでみたい競技種目』を示しています。

○部活動にあつたら取り組んでみたい競技種目（浜中学校区限定版）



「特別集計 5」では、浜中町立浜中小学校の児童（5・6年生）及び浜中町立浜中中学校の生徒が『中学校の部活動に設置されていたら取り組んでみたい競技種目』を示しています。

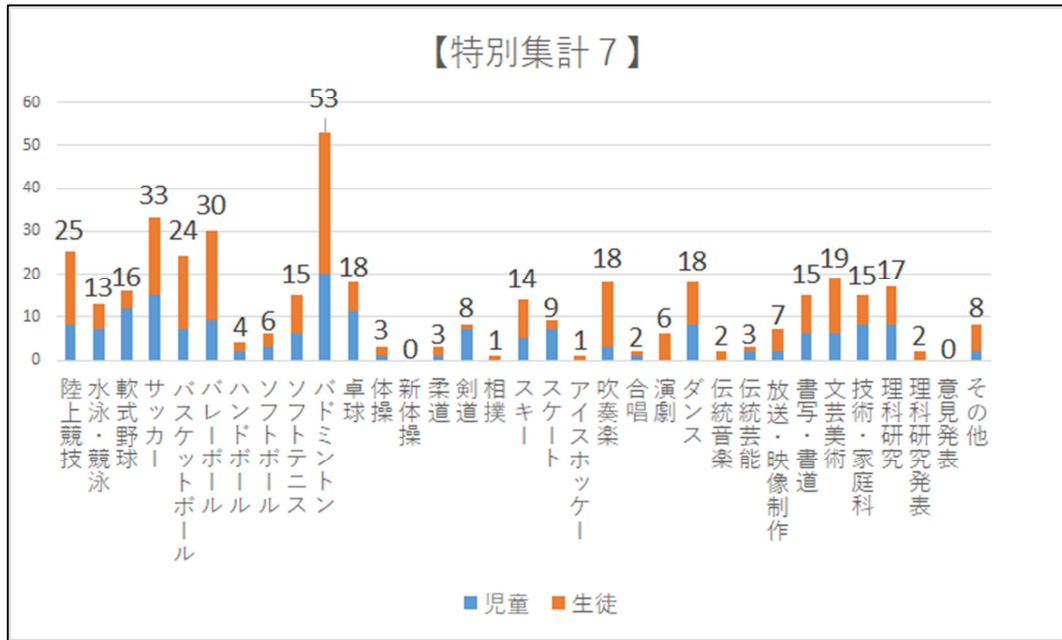
○部活動にあつたら取り組んでみたい競技種目（茶内中学校区限定版）



「特別集計 6」では、浜中町立茶内小学校の児童（5・6年生）及び浜中町立茶内中学校の生徒が『中学校の部活動に設置されていたら取り組んでみたい競技種目』を示しています。

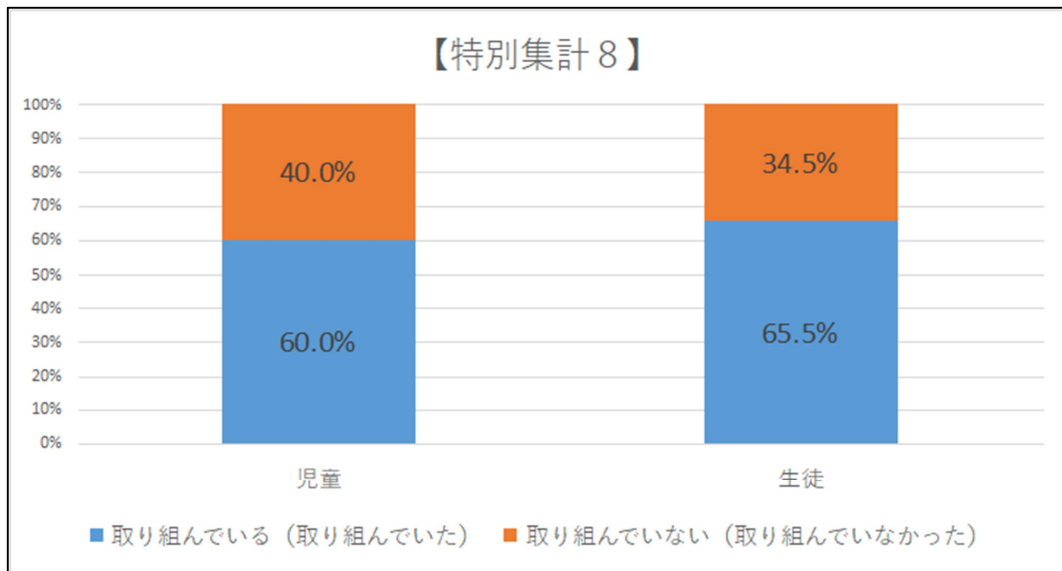
－ 特別集計 －

○部活動にあったら取り組んでみたい競技種目（統合版）



「特別集計 7」では、先の【特別集計 3】【特別集計 4】【特別集計 5】【特別集計 6】を統合し、浜中町内の小学校に通う児童（5・6年生）及び浜中町内の中学校に通う生徒が『中学校の部活動に設置されていたら取り組んでみたい競技種目』を示したものです。

○小学校時代のスポーツ少年団やクラブでの取り組みの状況



「特別集計 8」では、児童と生徒がスポーツ少年団やクラブなどに所属し、スポーツ・文化芸術の活動に取り組んでいたかを示しています。

3 調査結果から

- 児童生徒の部活動に対する期待感は強いものがあります。
(児童の加入希望：87.8%、生徒の加入状況：82.9%)
 - ～ 今後の部活動や部活動に替わる地域クラブ活動の在り方を検討し、持続可能なものとする必要があります。

- 児童生徒の部活動への取り組みに係る競技選択には、それまでスポーツ・文化芸術の活動の経験が少なからず影響している考えられます。
(5ページ：児童対象の間5、11ページ：生徒対象の間6)
 - ～ 中学校におけるスポーツ・文化芸術活動にあっては、中学校入学以前の体験や経験が影響を及ぼすことが考えられ、小学校等の早い時期からスポーツや文化芸術に親しみを持つことが重要です。

- 児童生徒が中学校の部活動で取り組みたい競技種目のうち、令和5年3月31日時点で浜中町内の中学校に設置されている部活動の競技種目であって、すべての中学校に設置されていない部活動の競技種目では、設置のない学校でも取り組みの要望が見られました。(39ページ：特別集計3、特別集計4、40ページ：特別集計5、特別集計6)
 - ～ 『陸上競技』『バドミントン』『卓球』『スケート』『文芸美術』といった競技種目は、浜中町内の複数の中学校で部活動が設置されていることから、同一の競技種目を取り扱う部活動については、集約（拠点校化）し、対象者を浜中町内の中学校に在籍するすべての生徒とすることが望ましいと考えられます。
また、『軟式野球』は、浜中町内の中学校うち、1校のみで部活動が設置されていることから、当該中学校校を拠点校化し、対象者を浜中町内の中学校に在籍するすべての生徒とすることが望ましいと考えられます。

- 児童生徒が中学校の部活動で取り組みたい競技種目には、令和5年3月31日時点で浜中町内の中学校では部活動の設置がない競技種目が多くみられ、特に『サッカー』『バスケットボール』『バレーボール』といった団体制の競技種目への人気が見られました。
(41ページ：特別集計7)
 - ～ 生徒が自らの興味関心・趣味趣向に応じてスポーツ・文化芸術の活動に取り組むことができるよう、一定の要望がある競技種目については活動の機会を設けることが必要であると考えられます。

- 保護者と教職員では、「部活動の地域移行に関する認知度」に違いがあり、「部活動の地域移行に対する賛否」には温度差が見られました。
(38ページ：特別集計1、特別集計2より)
また、保護者・教職員ともに部活動の地域移行について確かな理解が得られていない状況にあります。
(別冊「資料編」の14ページから23ページ、27ページから33ページ)
 - ～ 部活動の地域移行について、地域、学校、家庭の3者が確かな知識を持ち、十分に理解することが重要です。また、行政は、地域、学校、家庭の3者が知識・理解を深めることができるよう努める必要があると考えられます。

